

# 地域との共生

平成22年度  
秋田大学教育推進総合センター社会貢献推進部門  
活動報告





## はじめに

秋田大学の基本理念に「地域の振興と地球規模の課題解決に寄与する」とある。非常に壮大な理念であり、一朝一夕に成し遂げられるものではない。しかし、我々は足元を固めながら理念の実現に向けて一步一步前進しなければならない。平成 22 年度には北秋田市に「北秋田分校」が開設され、横手市に次いで二つ目の分校となった。また、平成 22 年度に包括協定あるいは連携協定を締結した自治体は大仙市、八峰町、男鹿市があり、平成 16 年度以降、協定を締結した自治体は秋田県を含め合計 10 の自治体となった。協定を締結した自治体からは秋田大学に対して大きな期待が寄せられていることが容易に推察出来る。それに応えるのがこれからの秋田大学にとって重要であることは事実である。その一方で大学が行う社会貢献は多岐に亘る。我々は秋田大学の社会貢献活動を盤石なものにするため、平成 22 年 11 月に「秋田大学の新しい社会貢献活動の考え方」をとりまとめた。その中では、大学開故事業の促進を大命題に、1. 大学主体の社会貢献、2. 外部（自治体・企業・他大学）との連携活動、3. 学生の社会貢献活動支援、4. 外部資金活用による社会貢献活動という 4 本の柱を立てた。この柱に沿った活動の結果もたらされる効果として、秋田大学の認知度や存在意義の向上、秋田大学への志願者増加、地域や自治体の活性化、外部資金や共同研究の増加等が想定される。平成 22 年度の社会貢献活動を俯瞰しつつ、再度大学の行う社会貢献とは何かを自問自答してみた。大学が行う社会貢献は単なる地域へのサービスやイベント開催、話題性ではなく、活動の結果「大学の活力、存在意義が認知され、研究活動の活性化と教員の教育力向上がもたらされる」という視点が必要である。とりもなおさず、教育・研究資源の提供に偏りすぎ、貯金を使い果たすことのないよう、新たな教育資源や研究資源の蓄積を教員は常に念頭に置かなければならない。社会貢献の究極のゴールは「秋田大学に入学した学生を社会が求める人材に育て、地域や社会へ送り出すことで地域との共生を実現する」という結論に達した。

平成 23 年度から新たに地域創生センターが始動する予定で、これまでの社会貢献活動はそこが担うことになる。一層進化した社会貢献活動や地域連携活動がなされるものと学内外から期待されているところではあるが、各部局の協力と社会の支援があって初めて魂が入ることになる。これまで以上の協力をお願いしたい。

平成 22 年度も多くの教員の協力と職員の支援が得られ、多彩な活動が実施できた。この紙面を借りて深謝する次第である。

理事（教育・社会貢献担当）・副学長  
吉岡尚文

## 社会貢献推進室の目的

社会の文化・科学・経済が円滑に循環するよう、本学の豊富な学習資源を有効に活用、提供すると共に、本学の人材が有する知識・技術などの資源を継承、発展、環流させ、社会のニーズと調和を図りながら地域の振興と創造に貢献する。

### 上記目的を達成するための目標

#### 1. 地域貢献

##### (1) 教育活動による貢献

- 1)小中高生の科学的思考や研究・学習への動機付けを促す。
- 2)大学での体験学習を積極的に実施する。

##### (2) 研究活動による貢献

- 1)医学、医療、保健、福祉等の研究成果を基盤に地域医療の総合的な支援をする。
- 2)共同研究や受託研究を推進し、地域産業活性化に寄与する。
- 3)技術相談への対応を充実すると共に、企業等からのニーズを把握し還元する。広報活動を通じて本学の研究活動や大学のシーズ、研究成果を積極的に発信・公表する。
- 4)学識や高度な技術が求められる国内外の審議会、委員会、調査活動等に協力する。
- 5)国際機関、国、自治体、民間機関が主催する企画に人材を派遣する。

#### 2. 生涯学習

##### (1) 教育活動による貢献

- 1)社会全体の生涯学習が円滑に実施されるよう、生涯学習を推進できる人材を養成する。
- 2)生涯学習機能を充実させ、社会の要請に応えるカリキュラムや学習技法を編成する。
- 3)自治体や他大学等と連携し、要請に対応した学習領域を提供する。
- 4)地域に特化した課題を取上げ、学習者の公共性を養い、協働による社会参加を支援する。
- 5)図書館や博物館、附属する各種センターを地域の学習、情報の拠点として開放する。

##### (2) 研究活動による貢献

- 1)優れた研究実績と研究資源を通じ、学外研究者に継続的な指導を行う。

# 平成22年度の活動実績

## 1. 公開講座

### (1) ヨーロッパ宗教名所バーチャル・ツアー

——イスラエル・フランス・ロシア・イギリスの信仰と文化——

実施日 平成22年7月7日(水)～8月4日(水)

毎週水曜日 計5日間

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学教育文化学部欧米文化講座

教授 立花希一

准教授 大西洋一

准教授 長谷川章

講師 佐藤猛



ヨーロッパにおいて、街の歴史と文化を形作る上で、宗教が及ぼした影響の大きさは看過できない。

特に、教会などの宗教建築物の威容にそれが端的に表されている。本講座では、欧米文化講座教員をツアーガイドとしてヨーロッパの宗教名所を訪ね、その精神文化に分け入ることを目的とした。豊富なビジュアル資料を多用した講義や、受講者の疑問に丁寧に答えていくスタイルが好評を博し、続編を望む声も多く聞かれた。

### (2) 環境と資源が誘う先端科学の旅

実施日 平成22年8月25日(水)～10月6日(水) 毎週水曜日 計7日間

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属環境資源学研究センター



教授 石山大三

教授 齊藤準

教授 林滋生

准教授 福留高明

准教授 山本修

准教授 吉村哲

講師 村上英樹

近年、環境と資源に関わる諸課題について、社会的な関心が高まっている。秋田大学工学資源学部が工学的視点から解決に取り組んでいる、こうした問題についての最先端の研究をわかりやすく紹介し、広く地域の方に関心をもってもらうことを目的として開講した。講義だけでなく、実験を行ったり、先端技術を利用した製品を見せる等の内容が好評で、受講者は普段聞く機会のない、先端技術についての詳細な解説に聞き入っていた。

### (3) 能楽講座——鑑賞と体験を通して能に親しむ——



実施日 平成22年 9月19日(日)  
～10月17日(日)  
毎週日曜日 計5日間  
会場 60周年記念ホール、教育文化学部2号館  
140講義室及び保育内容実習室  
担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座  
准教授 武内恵美子  
特別講師 作曲家 武内基朗(第5回のみ)

歴史や流派、演目の分類など能についての基礎知識を学び、また解説を加えた鑑賞や謡・囃子・舞等の実際の体験を通して理解を深めることで、能の世界に親しむ方法を伝授する講座である。講義を受けるだけではなく、囃子や仕舞の体験や、能面や楽器に実際に触れてみるなど、充実した内容の講座となった。また講師の、講義内容を意識した着こなしの着物姿も大変好評だった。

### (4) 総合自殺予防学インテンシブコース

実施日 平成22年10月1日(金)～11月5日(金) 毎週金曜日 計5日間  
(10月29日(金)を除く。10月8日(金)のみ1日2講義)

会場 カレッジプラザ

担当講師 岩手医科大学神経精神科学講座 講師 大塚耕太郎  
山口大学医学部地域医療推進学講座 教授 福田吉治  
内閣府自殺対策推進室 企画官 齊藤馨  
秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長／公衆衛生学講座 教授 本橋豊  
秋田大学大学院医学系研究科医学専攻公衆衛生学講座 准教授 金子善博  
秋田大学大学院保健学専攻基礎看護学講座 准教授 佐々木久長



地域等の現場で自殺対策に関わっている、実務の専門家を対象として開講している。総合自殺対策の現状と今後の展望を理解し、現場での対策推進に役立てることを目的として行われた。

専門分野の異なる講師6名により、それぞれの視点ごとに講義が行われ、参加者は多角的な取り組みの重要性を再確認していた。また、ワークショップでは、似た立場の実務家同士で意見を交換することで、取り組むべき問題について再確認することができたようだった。

### (5) 健康な生活習慣を身につけよう——保健学からの支援——

実施日 平成22年10月2日(土)～10月23日(土)

毎週土曜日 計4日間(1日2講義)

会場 医学系研究棟講義室

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻基礎看護学講座 准教授 佐々木久長



臨床看護学講座 教授 米山奈奈子

地域・老年看護学講座 准教授 鈴木圭子

助教 熊澤由美子

理学療法学講座 准教授 佐竹将宏

助教 齊藤明

作業療法学講座 准教授 石川隆志

助教 津軽谷恵

保健学の立場から、健康と生活習慣を振り返り、より望ましい生活習慣を獲得するための

の助力をすることをねらいとした講座である。受講者は第1回に体力測定と心理検査を行い、講座終了までの間、食生活や運動量を記録。生活習慣の偏りや健康状態の改善を目指した。生活習慣病やストレスへの対処法、アルコールとのつきあい方等、健康管理に役立つ内容の講義の他、自宅で簡単に行うことができるストレッチ等も紹介し、受講者からは「講座が終わった後も続けていきたい」という声が聞かれた。

### (6) 中世ヨーロッパの世界 王と貴族そして西洋諸国の原風景

実施日 平成22年10月6日(水)～11月10日(水)

毎週水曜日 計5日間(11月3日(祝)を除く)

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学教育文化学部欧米文化講座 講師 佐藤猛

現代ヨーロッパを代表する英国、フランス、ドイツといった国々がどのような経緯で生まれ、王や貴族がそれらの中世の国々をいかにして治めたのかを考える講座である。同テーマの異なる内容で昨年も開講した。

豊富な図版・写真資料や、講師オリジナルの表などを使用したわかりやすい講義が好評で、続編を希望する声が多く聞かれた。



## (7) 共に生きられる社会をめざして——発達障害の理解と支援——



実施日 平成22年10月29日(金)

～11月12日(金)

毎週金曜日 計3日間

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学教育文化学部障害児教育講座

教授 今野和夫

教授 武田篤

准教授 内海淳

近年、自閉症やアスペルガー症候群、LD(学習障害)、AD/HD(注意欠陥/多動性障害)などの「発達障害」への関心が高まっている。この講座では、こうした新たな

障害について理解を深めるとともに、幅広い支援の在り方と方向性について考えることを目的とした。実際に障害を持つ人の家族から、医療関係者、学校関係者、企業の人事担当者まで様々な立場の受講者が参加し、この問題に対する社会的関心の高さを感させた。

## (8) ドイツ歌曲の学習法と演奏法

### ——ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの歌曲——



実施日 平成22年11月23日(火)

～12月21日(火)

毎週火曜日 計5日間

会場 60周年記念ホール、教育文化学部  
2号館140講義室

担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座

准教授 爲我井壽一

特別講師 東京芸術大学 講師 奥千歌子

(ピアノ伴奏、第1回のみ)

古典派の作曲家であるハイドン、モーツァルト、

ベートーヴェンの歌曲作品を取り上げ、講義とレクチャーコンサートを行う講座である。はじめに生涯や歌曲作品から作曲家の性格や音楽の特徴などについて講義を行い、講師が実際に声楽を演奏した。その後、各受講者がベートーヴェンの歌曲「Ich liebe dich」を練習し、最終回には発表会を行った。伴奏に専門家を迎えたレクチャーコンサートや、ストレッチ等を取り入れた丁寧な指導に、受講者は心から音楽を楽しんだ様子だった。

## (9) もっと知りましょう、緩和ケア

実施日 平成23年1月11日(火)～2月8日(火) 計2日間

会場 カレッジプラザ

担当講師 秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター



センター長・講師 片寄喜久  
助教 武村史  
がん薬物療法認定薬剤師 庄司学  
緩和ケア認定看護師 佐藤圭子  
三浦京子

メディカルソーシャルワーカー 小川江美

がんの増加により、緩和ケアという言葉が注目を浴びているが、一部ではまだ、終末期やもう治療ができない方だけが受けるものと誤解されがちである。緩和ケアを正確に、もっと知ってもらうためにこの講座を開設した。

受講者は実際がんとを経験した人や、家族にがん患者がいる人、医療関係者等が多く、熱心に講義に聞き入っていた。終始真剣な雰囲気だったが、「講師のいたわり、優しさに励まされた」「いくらか不安が和らいだ」との声も聞かれた。



## 2. 東京サテライト

### (1) 東京サテライト教養セミナー「秋田学」を学ぶ

東京サテライトオフィスが入居している、キャンパス・イノベーションセンター東京を会場にした教養セミナーである。一昨年度、昨年度に引き続き、「秋田学」をテーマに歴史から地熱まで幅広い内容で構成した。講演の合間の休憩時間には、秋田大学と連携協定を結んでいる秋田県内自治体の特産品を参加者全員に配布。秋田の魅力を伝える良い機会となった。



①実施日 平成22年5月28日(金)

会場 キャンパス・イノベーションセンター東京

「モノガタリの誕生／〈歴史〉の創造—秋田の八幡太郎義家伝承—」

担当講師 秋田大学教育文化学部日本・アジア文化講座

教授 志立正知

「雅楽と秋田の意外な？関係—礼楽思想からのアプローチ—」

担当講師 秋田大学教育文化学部音楽教育講座

准教授 武内恵美子



②実施日 平成22年10月29日(金)

会場 キャンパス・イノベーションセンター東京

「秋田県の高山植生—過去・現在・未来—」

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座

准教授 成田憲二

「秋田における地球熱利用促進の取り組み」

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻

准教授 山口伸次

## (2) 「開南丸芝浦出港 100 周年記念イベント」 出展



実施日 平成22年11月26日(土)・27日(日)

会場 東京都港区港南区民センター

担当 秋田大学教育文化学部自然環境講座

教授 井上正鉄

社会貢献推進室員 武内亜紀子

東京サテライトオフィス 石橋美奈

白瀬轟が率いる我が国初の南極探検隊が芝浦港(現:埠頭公園付近)を出航して100周年となることを記念し、記念事業の一環として本イベントが行われた。本学からはパネル展示を行った。

## 3. 横手分校・北秋田分校・自治体連携関係

### (1) 大仙市連携協定締結記念講演会

実施日 平成22年5月26日(水)

会場 大曲市民会館(大曲中央公民館)

担当講師 秋田大学長 吉村昇

大仙市と秋田大学との協定締結記念事業として、締結式・記者会見及び記念講演会を開催した。栗林市長の挨拶に続き、吉村学長が「二番手商法からの脱却——創造に対する喜びを——」と題して講演。多くの地元高校生や企業関係者が熱心に聞き入り、秋田大学に対する理解を深めていた。



### (2) 小学校教員のための英語教育レッスン

実施日 平成22年8月3日(火)・4日(水)

会場 朝倉公民館(あさくら館)

担当講師 秋田大学教育推進総合センター

助教 濱田陽

助教 ジョー・サイクス

平成23年度より実施される小学校での外国語活動に関して、その意図や内容を説明すると共に、教員が無理なく実践できる活動やマニュアルを紹介することを目的として開催した。これにより、横手市内小学校教諭の外国語活動の指導力の向上を図り、ひいては地域社会への貢献をねらいとした。

参加者はキャッチボールや、グループでタイムを競うゲームなどを利用した学習方法を実際に体験し、他校の英語活動について積極的に意見交換を行っていた。



### (3) 北秋田市立鷹巣南小学校子ども科学教室「おもしろサイエンス」

実施日 平成22年10月22日(金)  
会場 北秋田市立鷹巣南小学校  
主催 秋田大学  
共催 北秋田市教育委員会  
全面協力 北秋田市、昭和化学工業(株)、  
中央シリカ(株)

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科  
環境物質工学専攻 教授 中田真一  
准教授 加藤純雄  
助教 小笠原正剛



特別講師 野村正幸 井原博之

秋田大学北秋田分校開校を前に企画され、北秋田市および地元企業である昭和化学工業(株)、中央シリカ(株)の全面的な協力により実施した。様々な科学実験のメニューを用意して、児童が興味を持った実験に自由に参加できる形式で行った。特に今回は、北秋田市特産である珪藻土を使った実験を用意し、地元の特産品に触れてもらうことを計画した。また、中田研究室の研究のパネル展示も同時に行った。発泡スチロールを使ったはんこ作りやスライム作りを通して、児童たちは楽しみながら化学実験に触れていた。

### (4) 北秋田市子ども科学教室「おもしろサイエンス」



実施日 平成22年10月23日(土)  
会場 北秋田市立鷹巣中学校  
主催 秋田大学  
共催 北秋田市教育委員会  
全面協力 北秋田市、昭和化学工業(株)、  
中央シリカ(株)  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科  
環境物質工学専攻 教授 中田真一  
准教授 加藤純雄  
助教 小笠原正剛

特別講師 野村正幸 井原博之 菅井幹夫 守屋芳夫  
成田榮樹 山城崇

前日に開催された、「北秋田市立鷹巣南小学校子ども科学教室『おもしろサイエンス』」と同様の趣旨で開催された。前日と同じ内容に加え、秋田大学ブースや、昭和化学工業(株)、中央シリカ(株)のブースも出展し、秋田大学と地元特産品である珪藻土のPRを行った。多数の参加があり、大盛況のうちにイベントを終えた。

## (5) 3大学連携 in 湯沢

実施日 平成22年11月6日(土)

会場 湯沢ロイヤルホテル

主催 秋田県立大学、秋田大学、国際教養大学

後援 湯沢市

協力 湯沢市教育委員会、湯沢市観光協会、湯沢商工会議所、湯沢青年会議所

秋田大学・秋田県立大学・国際教養大学の3大学は、平成21年3月24日に連携協定を締結した。この協定締結後の試みとして、3大学が連携し、大学の研究内容を紹介し、大学に対する市民の理解を深めること及び地域社会への貢献を目的としてこの事業を実施した。昨年引き続き、2回目の実施となる。異文化交流事業、高大連携授業、市民講演会が行われ、高校生から親子連れまで幅広い年代の参加があり、盛況のうちに終了することができた。

### I. 異文化交流事業

「留学生と各国料理を作ろう！」

### II. 高大連携授業

「作業療法学入門」

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科  
保健学専攻作業療法学講座  
助教 石井奈智子

「国際社会における文章表現のあり方」

担当講師 国際教養大学日本語プログラム 助教 石毛順子

「先端材料とその応用 ―エネルギーの有効利用を目的として―」

担当講師 秋田県立大学機械知能システム学科 教授 水野衛



### III. 市民講演会

「県南で元気に―湯沢の文化遺産を活かそう―」

担当講師 国際教養大学図書館長／グローバル・スタディズ課程 教授 勝又美智雄

「湯沢と近代文学―永之介・夢二・順子との関わりを中心に―」

担当講師 秋田県立大学総合科学教育研究センター長・教授 高橋秀晴

「家庭の教育力・地域の教育力を高めるために

―日本の伝統的な『当たり前』の学習環境と生活環境』がカギ！―」

担当講師 秋田大学教育文化学部附属教育実践研究支援センター 教授 浦野弘

## (6) 北秋田分校開設記念式典及び記念講演会

実施日 平成22年11月17日(水)

会場 北秋田市役所、北秋田市交流センター

担当講師 秋田大学客員教授 西木正明

秋田県の県北地域における新たな拠点として「秋田大学北秋田分校」を北秋田市役所内に開設し、上掲式・記者会見・記念講演会を開催した。秋田大学と北秋田市は平成21年10月に協定を締結。同市の特産品である珪藻土を含む豊富な地域資源を活用した産業振興、公開講座や高大連携等を通じた人材育成など、様々な面で協力していくこととしている。記念式典に続いて、小説家の西木正明氏(秋田大学客員教授)が「わたしの小説の書き方」をテーマに講演。多くの北秋田市民が耳を傾けた。



## (7) 平成22年度大学改革シンポジウム「地域に開いた大学のコンシェルジュ・デスク ～秋田大学横手分校からの発信～」



実施日 平成22年11月19日(金)

会場 横手セントラルホテル ラ・ポート  
翔光の間

秋田大学が秋田県内自治体と連携して実施している事業をより一層充実させると共に、大学の地域貢献事業を内外に発信することを目的に開催した。

横手分校(平成21年8月開設)でこれまで実施した連携事業の事例発表と、自治体・他大学・金融機関・報道機関の関係者を一堂に会したパネルディスカッションを開催。当日は多くの地域住民・自治体関係者等の参加があり、これまでの課題や今後の展開について、批判も含め、様々な立場からの意見を聞くことができた。また、当日は地元NPO法人によるインターネット動画配信も行われ、広くシンポジウムの様子を発信することができ、実りの多いイベントとなった。

### I. 横手分校事例紹介

#### i) 「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクト」

担当講師 秋田大学教育文化学部学生

#### ii) 「間引きスイカやホップを活用した健康食品素材の開発」

担当講師 秋田大学教育文化学部生活者科学講座 准教授 池本敦

#### iii) 「横手市増田町のまちづくりの現状と課題」

担当講師 秋田大学教育文化学部日本・アジア文化講座 教授 日高水穂

秋田大学教育文化学部政策科学講座 准教授 石沢真貴

## II. パネルディスカッション

「大学による地域貢献の現状と将来展望」

コーディネーター 秋田大学学長補佐（社会貢献担当） 教授 銭谷秋生

パネリスト 秋田大学教育文化学部日本・アジア文化講座 教授 日高水穂

秋田大学教育文化学部政策科学講座 准教授 石沢真貴

秋田大学教育文化学部生活者科学講座 准教授 池本敦

秋田大学教育文化学部学生

秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 教授 荒樋豊

国際教養大学図書館長／グローバル・スタディズ課程 教授 勝又美智雄

横手市役所総務企画部市長公室長 佐藤亮

北都銀行法人サポート部長 佐々木章

秋田魁新報社横手支局長 生内克史

### （８）メディカル・サイエンスカフェ in 横手

実施日 平成22年度11月24日（水）

会場 横手市ふれあいセンターかまくら館

担当講師 秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 寄附講座教授 長谷川仁志

市民の関心が高い医療や健康情報に関する最新の研究成果をわかりやすく解説することにより、秋田大学の研究の一端を地域社会へ還元することを目的として開催した。これまで、メディカル・サイエンスカフェは秋田市のみで行われており、秋田市外では初の開催となった。多数の参加があり、和やかな雰囲気や分かりやすい説明が好評を得た。サイエンスカフェ・マスターは秋田大学大学院医学系研究科副研究科長・河谷正仁教授が務めた。



### （９）小学校教員のための英語音声研修

実施日 平成22年12月4日（土）・11日（土）

会場 北秋田市中央公民館

担当講師 秋田大学名誉教授 幸野稔

平成23年度から小学校で5・6年生を対象に、外国語活動が本格導入されることを見据えて実施した。音声重視の体験学習という小学校外国語（英語）活動の意義を理解しながら、英語音声研修の特徴と発音表記を学び、教員等の指導力を図った。



CDやテキストを使つてのディクテーションや発声練習、英語の歌の練習を通し、参加者は正しい英語の発音や音声教育の重要性を改めて確認していた。

(10) 秋田大学 八峰町連携協定締結記念講演会

実施日 平成22年12月10日(金)  
会場 八峰町文化交流センター「ファガス」  
担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座  
教授 林信太郎

八峰町と秋田大学との協定締結記念事業として、締結式・記者会見及び記念講演会を開催した。協定締結を記念して、約4年前から八峰町の地質調査を行っている林教授が「ジオパーク認定申請と町の活性化について一島原半島・糸魚川両ジオパークに学ぶ」と題して講演。地元住民など多くの参加者があった。



(11) 中学生向け科学教室「カラフル化学の実験室」



実施日 平成23年1月7日(金)  
会場 秋田ふるさと村手作り体験工房  
主催 秋田大学横手分校  
共催 日本化学会東北支部、プロジェクト4A、  
大学コンソーシアムあきた  
担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科  
環境物質工学専攻 講師 井上幸彦

県南の中学生を対象に、楽しみながら化学への興味・関心を深めることをねらいとして開催した。昨年に引き続き、二回目の開催となる。「振ると色が変わるフラスコ」を作る実験や、アルコールランプによるカラフルな炎色反応等の実験があり、参加した中学生は「いろいろな実験があつて勉強になった」「化学にとっても興味が沸いた」等、化学のおもしろさを実感している様子だった。

(12) 天文イベントを開こう！ 天文ボランティア養成講座

実施日 平成23年1月29日(土)  
会場 よこてシャイニーパレス  
担当講師 秋田大学教育文化学部技術部  
技術専門員 毛利春治

天文イベントを開催するためのノウハウを学ぶ講習会を開催し「天文ボランティア(天文イベントを開催するスタッフ)」を養成することを目的とする講座である。それによって、横



手市近郊の学校・生涯学習施設等において、天体観察や天文講座といった様々な天文イベントを開催し、市民が天体を身近に感じる機会を増やすことをねらいとする。

講師の説明で基本的な事項を確認した後、受講者が実際に天文イベントの企画書を作成し、意見交換を行った。参加者どうしで意見を交わすことで、実際のイベント開催に向けての熱意が高まった様子だった。

### (13) 山の芋料理コンクールへの学生参加

実施日 平成23年2月24日(木)

会場 北秋田市中央公民館

主催 JA鷹巣町

地域農産物である山の芋のおいしさや魅力を理解してもらい、食卓への普及や学校給食での活用など、地産地消・食育活動推進につなげるとともに、生産拡大を図ることを目的として開催された。秋田大学北秋田分校の取り組みのひとつとして、教育文化学部特別聴講学生の李 木花(イ・モカ)さんと、保健学科の学生5名が参加。李さんは料理部門最優秀賞を受賞した。



### (14) 大仙市立刈和野小学校理科教室 楽しい・おいしい キッチン火山教室



実施日 平成23年2月25日(金)

会場 大仙市立刈和野小学校

担当講師 秋田大学教育文化学部自然環境講座

教授 林信太郎

来年度に統合を予定している大仙市内4小学校の3年生62名を対象に、統合前の4校の児童が交流を図ることを目的に開催した。チョコレートとココアを使った火山噴火の再現や、小麦粉を使った爆発実験など、楽しくおいしい理科実験を経験することで、子どもたちは楽しみながら火山について理解し、同時に交流を深めていた。

### (15) 横手分校学生地域交流「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プロジェクト」

横手市(総務企画部市長公室・産業経済部マーケティング推進課)並びに山内三ツ又地区営農生産組合(山内いぶりがっこ生産者の会)の全面的な協力の下、本学は学生を主体として、教職員が①地域との交流、②伝統技法の継承、③新たな産品開発研究への学際的なアプローチ、を目標に昨年度からプロジェクトを実施している。

今年度は、昨年度と同じくいぶりがっこを実際に製作した他、マーケティングを学ぶため自主ゼミナールを立ち上げ、バイヤーとの模擬商談や、社会人基礎力グランプリへの参加等を新たに取り入れた。なお、いぶりばでいは平成23年1月7日付けで商標登録された。



6月16日	いぶりがっこ製造プロジェクト開始
30日	第1回自主ゼミ～町おこしの事例を学ぶ～
7月15日	第2回自主ゼミ～マーケティングの実践～
22日	第3回自主ゼミ～ブランディングイメージ～
28日	模擬商談
9月3日	播種
6日	商談会参加
11月24日	収穫作業
25日	燻り作業
30日	漬込み
12月17日	社会人基礎力グランプリ参加
2月2日	樽開き



#### 4. 地域アカデミー

実施日 平成22年9月27日（月）～10月1日（金）

※オプションツアーは10月2日（土）

主催 秋田大学

後援 秋田県、秋田市、男鹿市、仙北市、  
（社）秋田県観光連盟、  
（財）秋田観光コンベンション協会

平成20年度から継続して実施している事業である。全国から13名の受講者が参加し、5日間にわたって全12講義を受講。また希望者は、オプションツアーとして男鹿半島で野外フィールドワークを行った。今年度も一昨年度、昨年度と同様に、「秋田」をテーマとして講義内容を選定。講師は秋田大学教員だけでなく、角館歴史案内人にも依頼し、幅広く充実した内容を備えた。また、大学内だけではなく、実際に玉川温泉や角館に出かけて学ぶスタイルも、昨年に引き続き好評を得た。



9/27	講義1 佐藤稔 「秋田のことばに親しむ —その特色と文化—」	講義2 池本敦 「秋田の伝統食とその活用」	
9/28	講義3 西谷忠師 「秋田県の地震と地下を探る技術」	講義4 大場司 「秋田の火山 —その成り立ちと特徴—」	講義5 石山大三「フィールドワーク ショップ—玉川温泉の強酸性温泉水 と北投石の起源を探る—I」
9/29	講義6 石山大三「フィールドワーク ショップ—玉川温泉の強酸性温泉水 と北投石の起源を探る—II」	講義7 角館歴史案内人 「角館の歴史と武家屋敷」	

9/30	講義 8 水田敏夫 「秋田から世界に発信 鉱物資源を探す技術」	講義 9 高崎康志 「資源リサイクルにおける 選鉱・精錬技術の役割」	講義 10 田子真 「地中熱交換器方式の熱抽出特性」
10/1	講義 11 井上正鉄 「鳥海山と国指定天然記念物 『獅子ヶ鼻湿原』の自然」	講義 12 佐藤時幸 「秋田に油田はなぜあるか？ —風を吹かせて石油をつくる—」	
10/2	オプションツアー「地球を調べ資源を考える——男鹿半島の岩石・化石——」		

## 5. その他（社会貢献推進室主催）

### （1）『はやぶさ』小惑星の秘密に挑んだ7年の旅

実施日 平成22年7月13日（火）

会場 60周年記念ホール

担当講師 JAXA宇宙航空研究開発機構 教授 川口淳一郎



小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャを務めた JAXA 川口淳一郎教授による講演会。平成5年より、川口教授に工学資源学研究科の非常勤講師を務めていただいていることから実現した。「はやぶさ」帰還からわずか1ヶ月後の開催であり、多数の参加希望者がつめかけ、貴重な講演に熱心に聞き入っていた。また、本会場の秋田大学60周年記念ホールだけでなく、秋田大学横手分校をはじめ県内の大学等にライブ配信を行った。

### （2）秋田大学子ども見学デー ～みんなで探検！ キャンパスツアー～

実施日 平成22年8月20日（金）

会場 秋田大学

- コース
- ・教育文化学部（2コース）
  - ・医学部（2コース）
  - ・工学資源学部（2コース）
  - ・総合情報処理センターコース



小・中学校と保護者を対象として、夏休みの間に、大学内の見学や様々な体験を通じて、大学に対する関心を高めてもらうことを目的として実施した。平成16年度から継続実施している。60周年記念ホールで吉岡副学長の歓迎あいさつ、銭谷教授によるスライドを使った秋田大学の紹介、諸注意を行ったあと、参加コースごとに学長室で記念撮影を行った。その後、各会場に移動して見学・体験となった。コース別の見学終了後は鉱業博物館に移動し、玄関で記念写真を受け取り、館内を自由に見学した。博物館内ではサイエンスボランティアから展示内容の説明を受け、多種多様な展示内容を興味深げに眺めていた。

### (3) 秋田大学インフォメーションセンターピアノコンサート



実施日 平成22年9月14日(火)  
会場 インフォメーションセンター  
演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座  
准教授 齋藤洋

今年度8月、インフォメーションセンターにグランドピアノを設置した。そのお披露目と、今後同所で開催する「秋大憩いのコンサート」のPRを目的として実施した。「生誕200年記念、ショパンの謎」と題して、齋藤准教授が、解説を交えてピアノ演奏を披露。当日の参加希望もあり、会場に立ち見が出るほどの盛況となった。

### (4) 秋田大学客員教授 浅利香津代講演会 「ふるさとと私」



実施日 平成22年10月12日(火)  
会場 60周年記念ホール  
担当講師 秋田大学客員教授 浅利香津代

平成22年5月から秋田大学客員教授を務める、女優の浅利香津代さんによる初の講演会。秋田で過ごした幼少期の思い出や、女優としてのこれまでの活躍、そして故郷の秋田への思いについて語り、学内外から参加した多くの人が熱心に耳を傾けていた。

### (5) NHK放送技術セミナー

実施日 平成23年1月28日(金)  
会場 60周年記念ホール  
講師 NHK放送技術研究所長 久保田啓一

NHK秋田放送局主催によるセミナー。学生を対象に、NHK放送技術研究所所長が講師を務め、最先端の放送技術についての講演会と、NHK採用情報の紹介等を行う「ふれあいコーナー」を開催した。会場の前のピロティでは、企画展示として放送関連の様々な機器を展示。最先端の技術に気軽に触れられるような体験型の展示を揃えた。



学生たちは、会場に現れたNHKキャラクター「どーもくん」のぬいぐるみに歓声を上げ、最先端技術の展示に興味深げに見入っていた。

## 6. 競争的資金による事業

### 平成21年度社会とつなぐ理科教育プログラムの開発

#### 「理科大好き☆夢発見プロジェクト～人のからだ マクロからミクロ～」

中学生に、中学理科と医療系職業とのつながりを理解させ、医療系職業への興味喚起と動機付けを行うことをねらいとして実施した。秋田市立河辺中学校2年生2クラス（50人）を対象に、1年生だった平成22年1月から事業を開始している。



#### ①講義「血液細胞について」・実験「血液標本の観察」

実施日 平成22年5月18日（火）

会場 秋田大学医学部講義室、実習室

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

器官病態学講座 助教 高橋正人

秋田大学医学部附属病院第三内科 医員 奈良美保

顕微鏡で赤血球、白血球を観察し、血液細胞のはたらきについて講義を受けた。中学校ではできない実験を体験することで、理科への興味喚起をねらった。また、研究者による講義を受けることで、通常の授業より深い理解を得た。

#### ②血液センター見学



実施日 平成22年5月31日（月）

会場 血液センター

献血で採血された血液から、血液製剤ができるまでを見学した。それにより、病院以外の場で医療に携わる職業について理解を深めた。また、血液が製剤化する過程を実際に見ることで、血液についてより深く理解することをねらいとした。

#### ③医学部附属病院見学

実施日 平成22年6月9日（水）

会場 秋田大学医学部附属病院

附属病院の中央検査部・中央放射線部・血液浄化療法部・臨床工学センター・栄養管理部・薬剤部を見学。病院が医師・看護師だけでなく、様々な職種の人々によって支えられていることを学び、医療に対する興味・関心を高めた。



#### ④中学生報告会

実施日 平成22年7月16日（金）

会場 河辺中学校

中学生の一人ひとりが、これまで学習した内容をパワーポイントでまとめ、発表した。



受け身の学習ではなく、学んだことを自ら考えてまとめる力、まとめた内容を相手に伝える力を養った。

#### ⑤報告書作成

実施時期 平成22年12月

一人ひとりが、これまでの活動を各々1ページにまとめ、それらの内容を一冊の報告書とした。活動を振り返り、自分で考えてまとめる力をさらに高めることができた。

## 7. 他部局主催（年度計画推進経費による）

### （1）秋田メディカル・サイエンスカフェ



平成19年度から行われている事業で、今年度も引き続き開催された。医学部の最新の医学研究成果を、一般市民にわかりやすく伝えることをねらいとしている。医学部教員が講師となって研究成果の説明を行い、大学院生等をファシリテーターとして参加者付近に配置、自由に討議を行った。講義のあとは、参加者と医学部教員が飲物を楽しみながら自由に意見交換をし、くつろいだ雰囲気の中で医学知識に触れてもらうことを目的とした。サイエンスカフェ・

マスターは秋田大学大学院医学系研究科長・本橋豊教授が務めた。

#### ①第10回「最新の緑内障診断と治療」

実施日 平成22年6月29日（火）

会場 秋田市民交流プラザ・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

病態制御医学系眼科学講座 教授 吉富健志

日本の失明原因のトップを占める緑内障であるが、かかった人の全てが失明するわけではなく、早期発見・早期治療により不自由のない程度に視力を保つことは可能である。また、診断技術や治療方法の進歩も目覚ましい。こうした緑内障という病気について、最新情報をわかりやすく紹介した。

#### ②第11回「『死因不明社会』からの脱却を目指して」

実施日 平成22年9月28日（火）

会場 秋田市民交流プラザ・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

社会環境医学系法医学講座 教授 美作宗太郎

日本は“生きている”患者さんには手厚い医療が施され、また社会保障制度の充実度は世界

でトップクラスと言われている。しかし死を迎えた途端に社会的サポートは一切なくなり、解剖率は先進国の中でも極めて低い平均10%前後に留まっている。このような社会状況の中、死因を解明することの重要性について、講師の経験を踏まえわかりやすく説明した。

### ③第12回「脂質の医学研究——最新状況とこれから」

実施日 平成22年12月6日（月）

会場 秋田市民交流プラザ・アルヴェ きらめき広場

担当講師 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

病態制御医学系生体防御学講座 教授 石井聡

脂質は、糖質（炭水化物）やたんぱく質と並んで、生体を構成する重要な成分である。しかし、脂質とは水に溶けにくい代謝物質の総称であり、様々な種類やはたらきがある。

こうした身近に存在する脂質について、最新の医学研究を今後の展望も含めわかりやすく説明した。

### （2）親子環境教室～身近なエコと科学技術～

実施日 平成22年7月31日（土）

会場 鉱業博物館

担当 秋田大学大学院工学資源学研究科 中田研究室

環境問題に対する意識向上と科学への興味を引き出すことを目的として、秋田県内の小学校高学年児童・中学生を対象に行われた。

注意事項を確認した後、5つに分かれたコーナーを移動して実験を行う形式である。発泡スチロールのスタンプ作りや、備長炭とアルミホイルを使った電池づくり等、様々な実験を通して科学への興味を深めていた。

### （3）子ども食農体験教室

実施期間 平成22年6月12日（土）～平成23年1月6日（木）

会場 横手市十文字地区

担当講師 秋田大学教育文化学部技術部

総括技術長 逸見洋子

自然や土に触れる機会が少なくなりつつある昨今、子ども達に野菜の栽培から収穫までを実際に体験し、その野菜を使って秋田ならではの調理方法を学んでもらうことを目的に開催している。秋田大学教員や学生、地域協力者が、講義や実技指導等を行った。知識を身につけながら野菜を育て、自分で調理し、味わうことで、子どもたちは食に対する意識を新たにした様子だった。



#### (4) 土崎水ロケット教室

実施日 平成22年8月7日(土)

会場 土崎公民館

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修

小学生とその家族を対象に、ペットボトルを利用した水ロケット製作を体験することで、ものづくりの楽しさを知ってもらうため開催した。参加者は持参した炭酸飲料のペットボトルを利用し、思い思いに水ロケットを製作。実際に飛ばして飛距離を競い、成績優秀者は表彰を行った。

#### (5) 第6回能代宇宙イベント

実施日 平成22年8月19日(木)～22日(日)

会場 能代宇宙広場

主催 能代宇宙イベント協議会

共催 国立大学法人秋田大学、  
銀河連邦ノシロ共和国、  
大学宇宙工学コンソーシアム  
(UNISEC)、  
NPO法人日本モデルロケット協会、  
「理数が楽しくなる教育」実行委員会



宇宙教育の普及と宇宙開発を支える人的資源を育成することに加え、航空宇宙技術の交流を通じ、地域活性化を目指して開催されている。秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センターが実質的な運営を行っており、社会貢献推進室も側面支援を行った。

4日間にわたり、缶サットやハイブリッドロケットの打上げ、ロケットエンジンの燃焼実験、水ロケット大会などが行われ、県内外から多数の参加者があった。

#### (6) 子どもものづくり教室

子どもたちにもものづくりを通して、科学や宇宙へ興味を持ってもらうことを目的に昨年度から実施している。今年度は3回にわたって開催した。参加者は実際に手を動かすことや、出来上がった作品を動かすことを通して、ものづくりの楽しさを実感した様子だった。

##### ①第3回～モデルロケット教室基礎編～

実施日 平成22年9月25日(土)

会場 ものづくり創造工学センター創造組立作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修  
副センター長・助教 和田豊  
技術職員 加藤隆一

技術系補助員 前田恵介

大学生TA 5名

モデルロケット作りに挑戦することで、科学への関心を向上させ、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的として行った。宇宙に関する基本的な知識や、ロケットの打上げ方法、火薬エンジン内部の構造等、モデルロケット4級ライセンス取得に必要な知識を学習。その後市販のキットを利用して、モデルロケットを製作し、実際に打上げを体験した。

### ②第4回～「手作りホバークラフト」製作～

実施日 平成22年12月18日(土)

会場 ものづくり創造工学センター創造組立作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター  
センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

環境物質工学専攻 准教授 進藤隆世志

地球資源学専攻 助教 網田和宏

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 野村裕也

大学生TA 2名

空気ので少し浮いて進む乗り物「ホバークラフト」を製作した。原理と仕組みを学んだ後、かつて日本で実際に運用されていた「大分ホバーフェリー」の映像で、ホバークラフトが動く様子を確認。キットを利用してホバークラフトを製作し、走行した。気象条件もあってスムーズな走行が難しかったが、参加者は粘り強く作品の改良に取り組んでいた。

### ③第5回～「電子ホタル」製作～

実施日 平成23年1月22日(土)

会場 ものづくり創造工学センター創造組立作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科  
附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

生命化学科 助教 藤原一彦

材料工学専攻 准教授 魯小葉

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 野村裕也

大学生TA 5名



LEDライトと電池を用いて、ホタルのようにゆっくり点滅する「電子ホタル」を製作した。YAC秋田分団のものづくり教室との共同開催。

各部品の名称と役割について学んだ後、実際に回路を組んで電子ホタルを製作、電子回路の



仕組みを確認した。

④第6回～「ポンポン船」製作～

実施日 平成23年2月26日（土）

会場 ものづくり創造工学センター創造組立作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

情報工学専攻 教授 五十嵐隆治

機械工学専攻 教授 村岡幹夫

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 野村裕也

大学生TA 5名

水蒸気の圧力で推進力を得る船舶模型の「ポンポン船」を製作した。

ポンポン船が動く原理や、道具の使い方の説明を受けた後、各自ポンポン船を制作。工作経験がなく、苦戦しながら取り組んでいた参加者も、次第に道具の使い方に慣れ、ものづくりの楽しさを実感している様子だった。

⑤第7回～「傘ラジオ」製作～

実施日 平成23年3月26日（土）

会場 ものづくり創造工学センター創造組立作業室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

センター長・教授 神谷修

副センター長・助教 和田豊

電気電子工学専攻 教授 田島克文

土木環境工学専攻 助教 城門義嗣

技術職員 加藤隆一

技術系補佐員 野村裕也

大学生TA 4名

日用品を利用して、電池なしで聴くことができる「傘ラジオ」を制作した。作り方の説明の前に、東日本大震災直後の深刻な電力、エネルギーの不足についての説明があった。傘ラジオ制作を通して、日用品を活かして困難を乗り越える柔軟性や、エネルギーの大切さを学んで欲しいという言葉に、参加者は熱心に聞き入り、ものづくりに取り組んでいた。

(7) 金属とセラミックスの子供もの作り教室

実施日 平成22年10月16日（土）

会場 工学資源学部3号館

担当講師 秋田大学工学資源学研究科材料工学専攻

教授 泰松齊  
 教授 麻生節夫  
 准教授 佐藤芳幸  
 准教授 大口健一  
 助教 仁野章弘  
 技術専門員 小松芳成  
 技術専門員 菅原和久

小学校高学年を対象に、金属とセラミックスを用いたものづくりや実験を行う講座である。平成20年度から継続して開催している。参加者は自らの手で実際に、蛍光塗料の作製、熱の電気への変換、スズ合金製のメダルの作製といった作業を行うことで、安全な道具の使い方や科学の楽しさを学んでいた。



### (8) 秋大憩いのコンサート

平成22年4月に手形キャンパスに新たに開設した、インフォメーションセンターを広く知ってもらい、社会貢献に活用するために開催した。月1回、全6回にわたって、本学教員や学生、卒業生等が出演した。



#### ①第1回 秋田の作曲家成田為三の世界

実施日 平成22年10月30日(土)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 齋藤洋(ピアノ)  
 准教授 爲我井壽一(テノール)

#### ②第2回 秋田の作曲家たち～先人の音の遺産を辿る～

実施日 平成22年11月27日(土)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 齋藤洋(ピアノ)  
 准教授 佐川馨(解説・トロンボーン)  
 准教授 爲我井壽一(テノール)

羽澤知子 (ソプラノ)  
 最上絵里花 ( " )  
 佐々木渉 (トロンボーン)  
 米澤怜緒 ( " )  
 児玉祐佳 ( " )

③第3回 学生によるクリスマス・コンサート

実施日 平成22年12月25日(土)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座2年生  
(ピアノ、トロンボーン、ソプラノ、合唱)

④第4回 歌のこころ 愛の歌曲

実施日 平成23年1月30日(日)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 爲我井壽一(テノール)  
西川香(ピアノ)

⑤第5回 ピアノ連弾のよこび

実施日 平成23年2月27日(日)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 齋藤洋(ピアノ連弾)  
富樫彩子(ピアノ連弾)

⑥第6回 管楽アンサンブルの魅力

～フルート四重奏&トロンボーン四重奏～

実施日 平成23年3月19日(土)

演奏 秋田大学教育文化学部音楽教育講座 准教授 佐川馨(トロンボーン)  
児玉祐佳(トロンボーン)  
佐々木渉( )  
米澤怜緒( )  
荒川未来(フルート)  
高橋雅博( )  
畠山絵梨( )  
山田翠( )

(9) 秋田大学総合技術部テクノフェスタ2010ー技術体験フェスター

実施日 平成22年11月6日(土)

会場 秋田拠点センター・アルヴェ きらめき広場

秋田大学の教育研究等で利用される専門技術について、地域で広く知ってもらうため、昨年度から開催している。理化学用ガラス細工の実演や、すず合金のアクセサリーづくりといった技術体験型の展示に加えて、地元企業・団体を対象とした技術相談会を実施。多くの家族連れが参加し、特にガラスを溶かしてマドラーを作る展示では、順番待ちが出るほどの盛況となっていた。



(10) 秋田土壌浄化コンソーシアム 平成22年度教育・啓発事業

子ども科学教室「土を科学しよう 環境をはかろう」

実施日 平成22年12月25日(土)

会場 VBL大セミナー室

主催 NPO法人秋田土壌浄化コンソーシアム

共催 秋田大学産学連携推進機構

秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

秋田大学大学院工学資源学研究科

秋田大学社会貢献推進室

担当講師 秋田大学大学院工学資源学研究科 非常勤講師 野村正幸

秋田大学工学資源学部環境応用化学科中田研究室 学生16名

身近な素材を利用した様々な理科実験を通して、子どもたちの科学や環境問題に対する興味・関心を深める催し。まず参加者は、地球を構成する物質や土の成分などについて学習。その後、7つに分かれた実験コーナーで大学生の説明を聞きながら様々な実験に挑戦し、紅茶や漂白剤などを使ったpHの測定や、北秋田市特産の珪藻土の観察、石灰岩の分解反応の観察などを行った。参加した子どもたちは、アシスタントの大学生の手を借りながら、初めて体験する実験に積極的に取り組んでいた。

(11) トップレベル高校生のための地学ゼミナール

実施期間 平成22年8月18日・19日(実地研修)

平成22年5月中旬～9月中旬(通信研修)

担当講師 秋田大学教育文化学部教科教育学講座

准教授 川村教一

地学の知識・能力にすぐれた高校生を対象として、実地研修および通信研修を行った。

岩石・鉱物・化石観察、地質図学、位置天文学、観察・実験能力の向上等、幅広い分野にわたって指導を行い、地学研究に必要な能力を身につけた。本ゼミナール受講生徒7名のうち4名が、国際地学オリンピックインドネシア大会に参加し、1名が金メダル、3名が銀メダルを受賞した。中でも金メダルの受賞は日本初という著しい成果を挙げた。



## 8. その他

(1) 大学訪問受入

①能代市立能代第一中学校

実施日 平成22年5月19日(水)

会場 工学資源学部2号館、総合研究棟、ものづくり創造工学センター、食堂、鉱業博物館、手形キャンパス

担 当 工学資源学研究科地球資源学専攻 准教授 大場司  
工学資源学研究科機械工学専攻 准教授 長縄明大  
工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター 技術系補佐員 前田恵介  
人 数 6名（2年生）

職場体験学習として、大学を訪問することで自分の将来の職業について考えることを目的に行われた。「火山」と「ロボット工学」の2グループに別れ、それぞれ専門の教員の話聞き、施設を見学した。また、手形キャンパス内の様子や、鉱業博物館等も見学した。

今中学校で学んでいる内容と、大学の研究内容が密接に関連していることを知り、生徒たちは学習に対する意欲を深めている様子だった。



## ②岩手県立花巻北高等学校PTA



実 施 日 平成22年6月17日（木）  
会 場 VBL大セミナー室、手形キャンパス  
担 当 副学長 吉岡尚文  
教育推進総合センター 教授 銭谷秋生  
学生支援総合センター就職活動支援部門長  
教授 中村裕  
人 数 37名（保護者・教員）

秋田大学入学後の、学生生活や就職状況について知ることを目的に実施された。

教員から大学の授業内容や施設、就職状況、等の説明を教員から受けた。その後、キャンパスガイドマップを利用して手形キャンパス内を散策し、参加者は自らの目で学内の環境を確認していた。

## ③秋田市立明德小学校

実 施 日 平成22年6月25日（金）  
会 場 手形キャンパス、VBL、  
60周年記念ホール、  
インフォメーションセンター  
担 当 教育推進課社会貢献推進室員  
辻友佳  
山方遥  
人 数 6名（2年生）



小学校生活科の単元「町探検」の一環として大学を訪問した。キャンパスガイドマップを見て手形キャンパスの広さを確認した後、実際に歩いて大学の広さを体感した。途中、キャンパ

ス内の珍しい植物や、BVL最上階からの景色、60周年記念ホール、インフォメーションセンター等を見学した。普段目にする事のない大学の内部を目にして、子どもたちは目を輝かせていた。

#### ④湯沢市立雄勝中学校

実施日 平成22年6月30日(水)

会場 教育文化学部3号館、インフォメーションセンター、手形キャンパス

担当 教育文化学部教科教育学講座 教授 佐々木雅子

人数 5名(2年生)

秋田市内の文化施設見学の一環として、教育文化学部教員に大学についての話を聞くために訪問した。生徒たちは、秋田大学卒業生の進路や大学で学べる内容、中学校時代にしておくべきこと等について、熱心に質問していた。

教員の話の後は、インフォメーションセンターに移動、ちょうど開催期間だった「留学生展」を見学した。それぞれの国の写真や民族衣装、工芸品等に生徒たちは熱心に見入っていた。



#### ⑤大仙市立大曲中学校

実施日 平成22年7月1日(木)

会場 医学部保健学科、食堂、60周年記念ホール、手形キャンパス

担当 医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座 教授 柳屋道子

医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 助教 齊藤明

医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 教授 石井良和

教育推進総合センター 教授 銭谷秋生

人数 52名(3年生)



総合的な学習の時間の単元、「上級学校訪問」の一環として、大学生活に実際に触れ進路について考えることを目的に行われた。医療系の職業を志望する生徒が多いことから、本道キャンパスで保健学科を見学し、大学で学ぶ内容について調べた。その後手形キャンパスに移動し、食堂を利用して、大学生と同じメニューを味わった。昼食後は、秋田大学生から大学生活についての話を聞き、手形キャンパス内を散策した。初めて目にする大学内の様子に、生徒たちは大学生活への希望を膨らませている様子だった。

⑥秋田市立城南中学校



実施日 平成22年7月8日(木)  
会場 学生支援棟ミーティングルーム、  
鉱業博物館、手形キャンパス  
担当 教育推進総合センター 教授 錢谷秋生  
人数 6名(2年生)

総合的な学習の時間の単元、「上級学校訪問」の一環として秋田大学を訪問した。

秋田大学紹介のDVDを視聴した後、大学全体についての説明を聞いた。その後、インフォメーションセンターで開催中の企画展「宇宙への挑戦」や、鉱業博物館を見学した。生徒たちは秋田大学生が製作したハイブリッドロケットや、博物館に展示された鉱物や化石に、熱心に見入っていた。

⑦秋田大学教育文化学部附属中学校

実施日 平成22年7月8日(木)  
会場 教育文化学部4号館  
担当 教育文化学部自然環境講座  
准教授 石井照久  
人数 5名(2年生)



総合的な学習の時間の一環として、環境について大学教員に質問するために訪問した。

生徒たちは事前に学習してきた内容をもとに、環境問題と自分達の生活の関わりについてや、環境問題の現状、対策等について熱心に質問していた。

⑧秋田市立河辺中学校

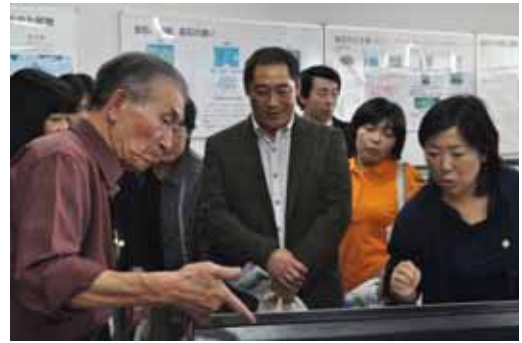


実施日 平成22年7月21日(水)・22日(木)  
会場 教育文化学部1・3号館、本部管理棟、  
附属図書館、学生支援棟、医学部附属病院  
担当 教育文化学部、学生支援課、入試課、  
図書館・情報企画課、医学部附属病院、  
社会貢献推進室  
人数 10名(3年生)

総合的な学習の時間の一環として、実際に仕事を体験することで進路について考えるため、職場体験を行った。附属病院や図書館、入試課等、様々な部署で多様な業務を経験した。生徒たちは大学で行われている業務の種類の高さに驚きながら、懸命に業務に取り組み、将来の職業選択への考えを深めている様子だった。

⑨秋田県立大曲高校PTA

実施日 平成22年10月7日(木)  
会場 インフォメーションセンター、  
鉱業博物館  
担当 鉱業博物館サイエンスボランティア  
社会貢献推進室員 山方遥  
人数 17名(保護者・教員)



県内国公立大学の理解を深めることを目的とし、  
キャンパス見学を行った。手形キャンパス内を実際に歩き、広さや施設等について確認した後、  
鉱業博物館を見学。学生たちが生活する姿や、博物館の豊富な資料を目にして、秋田大学への  
理解を深めている様子だった。

⑩南秋田郡八郎潟町立八郎潟中学校



実施日 平成22年10月21日(水)  
会場 教育文化学部2号館、インフォメーションセンター  
担当 教育文化学部音楽教育講座 准教授 武内恵美子  
人数 5名(2年生)

秋田市について理解を深める「秋田市内探訪」の一環として、  
秋田大学を訪問した。吹奏楽部に所属する生徒たちだったため、  
音楽教育講座の教員のお話を聞きたいと希望しており、武内准  
教授へのインタビューを行った。加えて、音楽教育に使用され  
る教育文化学部2号館を見学し、生徒たちは自分自身の進路や音楽への思いを新たにしていた。

⑪秋田市立外旭川中学校

実施日 平成22年11月2日(火)  
会場 教育実践研究支援センター、鉱業博物館、  
インフォメーションセンター、  
手形キャンパス  
担当 教育文化学部附属教育実践研究支援センター  
准教授 姫野完治  
鉱業博物館サイエンスボランティア  
人数 6名(2年生)



総合的な学習の時間の単元、「上級学校訪問」の一環として秋田大学を訪問した。教員から大  
学で学べる内容や大学生活、今何をすべきか等について聞き、生徒たちは自分自身の進路や学  
校生活についての考えを深めた。その後は鉱業博物館に移動し、豊富な資料を見学した。

⑫大仙市立中仙中学校

実施日 平成22年11月9日(火)



会 場 インフォメーションセンター、学生支援棟ミーティングルーム、一般教育2号館、  
大学生協食堂

担 当 教育推進総合センター 教授 銭谷秋生  
人 数 15名（2年生）

総合的な学習の時間の単元、「上級学校訪問」の一環として秋田大学を訪問した。最初に、インフォメーションセンターで開催中の北秋田分校開設記念「マタギ展」を見学。その後移動し、大学紹介DVDを視聴した後、銭谷教授から大学生活についての説明を受けた。また、階段教室や大学生協等を見学し、大学全体に対する理解を深めていた。



### ⑬盛岡市立高等学校PTA

実 施 日 平成22年11月12日（金）

会 場 VBL大セミナー室

担 当 副学長 吉岡尚文  
教育推進総合センター  
教授 銭谷秋生

人 数 22名（保護者・教員）

保護者の視点から、大学についての理解を深めるため実施された。大学で学ぶことができる内容や就職状況、学生生活等の説明を受けて、参加者は熱心に聞き入っていた。また、実際に目にする手形キャンパスの様子から、秋田大学の雰囲気を感じ取ることができた様子だった。



### ⑭秋田東中学校

実 施 日 平成22年12月7日（火）

会 場 学生支援棟ミーティングルーム、鉱業博物館、インフォメーションセンター、  
環境資源学研究センター

担 当 工学資源学研究科生命科学科 教授 小川信明  
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター教授 石山大三  
秋田大学名誉教授 松葉谷治

人 数 4名（2年生）

キャリア教育「職場体験・学校訪問」の一環として秋田大学を訪問した。秋田大学についての説明を受けた他、研究室や、普段は目にするのでできない実験施設等を見学した。大学でしか見ることのできない実験の現場を目にして、生徒たちは学問や研究活動に対する理解や興味を深めていた。



### ⑮戸米川小学校



実施日 平成22年12月1日(水)  
会場 食堂、学長室、手形キャンパス  
担当 秋田大学長 吉村昇  
社会貢献推進室員 武内亜紀子  
山方遥

人数 10名(4年生、引率1名)

総合的な学習の時間の一環として、地域の人々が就いている様々な職業について知るために秋田大学を訪問

した。子どもたちは、食堂を利用して大学生と同じメニューを味わった他、吉村学長に様々な質問を熱心に投げかけ、大学について知ろうと努めていた。また、体育館やBVL、図書館、60周年記念ホール等、小学校にはない施設を見学し、大学への憧れを強めた様子だった。

### (2)「がん」を知って大切な人を守ろう(高校生対象公開講座)

実施日 平成22年10月9日(土)

会場 60周年記念ホール

主催 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」青少年・市民公開講座実施委員会

共催 北東北がんプロフェッショナル養成プラン(秋田大学大学院医学系研究科)  
日本赤十字秋田看護大学看護学部

後援 秋田県、秋田県教育委員会、秋田県医師会、秋田県看護協会、  
大学コンソーシアムあきた

担当講師 京都大学大学院生命科学研究科 教授 石川冬木

社会医療法人明和会中通総合病院乳腺内分泌外科 清澤美乃

順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座 教授 樋野興夫

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻

機能展開医学系産婦人科学講座 准教授 藤本俊郎

機能展開医学系循環器・呼吸器内科学講座 講師 佐野正明

がん研究の成果を広く青少年や一般市民に発信し、がん研究の意義を理解してもらうとともに、将来のがん研究者の開拓につなげることを目的として講演会を開催した。また併せて、今後の生活習慣の改善や、がんの早期発見のための検診受診の大切さを一緒に考えることもねらいとした。県内外でがん研究・治療の最前線に立つ医師の講演を聞くため、多数の学生や市民が参加し、がんについての知識を深めていた。

### (3)「秋田大学キャンパスガイドマップ」の作成

秋田大学を地域に開かれた大学にするための活動の一環として、昨年度に第一版を作成し、イベント等の際に配布され好評を博した。本年度は新施設の完成に伴い、改訂を加えた。また、増設されたAEDの位置等も新たに記載し、より一層使いやすいガイドマップとなった。

#### (4) 秋田県赤十字血液センターによる献血事業への協力

以前より行ってきた献血事業への協力を、今年度も引き続き行った。学内への献血カー運行の際等、学生や教職員に対して、献血事業への興味・関心を深め、献血活動へ協力してもらうことを目的とし、学内周知に力を入れた。

#### (5) しらせ南極探検隊100周年記念実行委員会主催事業協力

明治43年(1909)11月29日、白瀬中尉を隊長とする「白瀬日本南極探検隊」は、「南極」を目指して東京・芝浦を出航した。そして、明治45年(1912)1月28日、白瀬中尉をはじめとする突進隊は、南緯80度05分西経156度37分の地点に達し、見渡す限りの一帯を「大和雪原(やまとゆきはら)」と命名した。

こうした功績から数えて100年という節目を迎える今、県内外で様々な関連イベントが行われ、本学でも各種事業に協力している。

#### (6) 募金活動(チリ地震、青海省地震、宮崎県口蹄疫被害)

秋田大学では、地域貢献・国際貢献の一環として、国内外を問わず災害があった際には募金活動を行っている。本年度は4件実施し、うち1件については昨年度から今年度に跨いで実施した。

##### ①チリ地震

期 間 平成22年3月2日(火)～4月16日(金)

募金総額 203,450円(434件)

南米チリ共和国にて平成22年2月27日、マグニチュード8.8の大地震が発生した。この地震によって被災した地域や人々に対して、学内学生・教職員から救援金を募った。

また、集まった救援金については、日本赤十字社秋田県支部に寄附し、目録を銭谷秋生教授(教育推進総合センター社会貢献推進部門長)から樋渡事務局長(日本赤十字社秋田県支部)に贈呈した。

##### ②青海省地震

期 間 平成22年4月26日(月)～平成22年5月21日(金)

募金総額 179,080円(291件)

中国青海省玉樹チベット族自治州玉樹県(人口8万人)で平成22年4月14日にマグニチュード7.1の大規模な地震が発生した。この地震によって被災した地域や人々に対して、学内学生・教職員から救援金を募った。集まった救援金については、日本赤十字社秋田県支部を通して被災地への支援に役立てられた。

##### ③宮崎県口蹄疫被害

期 間 平成22年6月23日(水)～平成22年7月9日(金)

募金総額 208,711円(234件)

今年3月頃より宮崎県で発生した口蹄疫被害は、毎日1万頭の殺処分や大規模な消毒作業を

行うなど深刻な状況にあった。本学医学部保健学科学生・加賀屋勇氣（かがや・ゆうき）さんは、口蹄疫被害について問題意識を持ち、義援金の募金活動を独自に開始した。

社会貢献推進室では、加賀屋さんの活動に賛同し、被災された方々の支援のため義援金を募ることに対して後押しを行った。本学学生・教職員から集まった義援金は、社会福祉法人宮崎県共同募金会を通じて、現地被災者の方々へ届けた。

#### ④海外洪水被害

期 間 平成23年2月3日（木）～平成23年2月25日（金）

募金総額 126,960円

大規模な洪水・土砂災害に見舞われた、オーストラリア北東部・ブラジル南東部・スリランカの3つの地域のため、学内学生・教職員から救援金を募った。

また、集まった救援金については、日本赤十字社秋田県支部に寄附し、目録を銭谷秋生教授（教育推進総合センター社会貢献推進部門長）から樋渡事務局長（日本赤十字社秋田県支部）に贈呈した。

#### ⑤東北関東大震災

期 間 平成23年3月16日（水）～平成23年4月28日（木）

募金総額 3,410,058円

平成23年3月11日に発生したマグニチュード9.0の地震と、それに伴う津波等の被害を受けた地域や人々のため、教職員や学生から義援金を募った。集まった救援金は日本赤十字社秋田県支部を通じ寄附した。

#### （7）樹種プレート製作、設置（手形キャンパス）

秋田大学キャンパスガイドマップと連動して、秋田大学についてもっと知ってもらうために企



画された。手形キャンパス内に植えられている樹木について、名前と説明を表記したプレートを作成し、樹木のそばに設置。簡単に樹木の名前や特徴について知ることができるようになった。

## おわりに

社会貢献推進室は、本学の法人化とともに立ち上げられた社会貢献推進機構を、室長に人事交流による県職員を迎え、職員も大幅に増やして改組・拡充するかたちで、平成 21 年度にスタートを切った組織である。本学の活動の三つの柱は、教育・研究・社会貢献だが、教員ならびに他部局の協力を得ながらその柱の一つを担当するという責務を与えられている。今年度も、本報告書にある通り、多岐にわたる社会貢献活動を十分に下支えし、責務を果たしてきたと言えるように思う。

今年度の特徴的な事業として、先ず、秋田大学横手分校の開校一年目を記念して行われたシンポジウム「地域に開いた大学の『コンシェルジュ・デスク』～秋田大学横手分校からの発信」をあげることができる。ここでは、公開講座や理科教室の開催といったことのほかに、大学の教育資源を地域のために役立てうる極めてオリジナルな試みがあることが紹介された。さらに、地域の方々の本学への要望が直接提示されもした。これらによって、「敷居が高い」とされてきた大学と市民の方々との距離がいくぶんなりとも縮小したのではないかと思われる。

特徴的な事業の二つ目として、同じ横手で行われた「小学校教員のための英語教育レッスン」をあげたい。これは、小学校に英語科目が導入されるという新しい事態を見据えて、指導に当たる先生方に少しでも協力したいという本学の英語教員たちの自発的な要望を受けての試みだった。

この他にも、本報告書にあるように、様々な社会貢献事業が展開された。この方向性が次年度以降も継続されることを願ってやまない。

さて。

この原稿を書いているのは、東日本大震災が起こってから二週目にあたる。震災による死者数が一万人を超え、安否不明者数が二万人にのぼり、福島第一原発の事故の行方は予断を許さないという報道がなされている。このような事態を前にして、本学として何ができるのだろうか。すでに本学には震災対策本部が置かれ、義援金の募集が始まり、支援物資の収集と運搬が計画されている。医学部付属病院からは医師団が被災地に派遣されている。今すぐにはできることはすべて行なうべきだろう。しかし、原発の難を逃れて「移住」する人々へのケアなど、震災がもたらすものに立ち向かうには、息の長い取組が必要になる。このことを考えると、本学の社会貢献力がなおいっそう試されることになると思われる。教職員の叡知を結集したい。

学長補佐（社会貢献担当）

銭谷秋生

公開講座	ヨーロッパ宗教名所バーチャル・ツアー —イスラエル・フランス・ロシア・イギリスの信仰と文化— (全5回)	22. 7. 7(水) ~ 8. 4(水)	どなたでも	44	教育文化学部
	環境と資源が誘う先端科学の旅 (全7回)	22. 8.25(水) ~ 10. 6(水)	どなたでも	16	工学資源学研究所
	能楽講座—鑑賞と体験を通して能に親しむ—(全5回)	22. 9.19(日) ~ 10.17(日)	どなたでも	36	教育文化学部
	総合自殺予防学インテンシブコース(全5回)	22.10. 1(金) ~ 11. 5(金) 10/29を除く	保健師、行政担当者 サポーター	23	医学系研究所
	健康な生活習慣を身につけよう—保健学からの支援— (4日間、全6回)	22.10. 2(土) ~ 10.23(土)	どなたでも	11	医学系研究所 保健学専攻
	中世ヨーロッパの世界: 王と貴族そして西洋諸国の原風景(全5回)	22.10. 6(水) ~ 11.10(水) 11/3を除く	どなたでも	28	教育文化学部
	共に生きられる社会をめざして—発達障害の理解と支援—(全3回)	22.10.29(金) ~ 11.12(金)	どなたでも	40	教育文化学部
	声楽公開講座「ドイツ歌曲の学習法と演奏法」 —ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの歌曲—(全5回)	22.11.23(火) ~ 12.21(火)	どなたでも	9	教育文化学部
もっと知りましょう、緩和ケア(全2回)	22.11.11(火) ~ 22.2.8(火)	どなたでも	37	医学部附属病院 緩和ケアセンター	
東京 サテライト	東京サテライト教養セミナー「秋田学」を学ぶ(第1回)	22. 5.28(金)	首都圏の方どなたでも	40	教育文化学部
	東京サテライト教養セミナー「秋田学」を学ぶ(第2回)	22.10.29(金)	首都圏の方どなたでも	35	教育文化学部 工学資源学研究所
	「開南丸芝浦出航100周年記念イベント」へ出展	22.11.26(土) ~ 11.27(日)	首都圏の方どなたでも	100	社会貢献推進室
横手分校・ 北秋田分校・ 自治体連携 関係	秋田大学 大仙市連携協定締結記念講演会	22. 5.26(水)	大仙市関係者等	450	企画広報課 社会貢献推進室
	【横手分校】小学校教員のための英語教育レッスン	22. 8. 3(火) ~ 8. 4(水)	小学校教員	12	横手分校 教育推進総合センター
	【北秋田分校】北秋田市立鷹巣南小学校子ども科学教室 おもしろサイエンス	22.10.22(金)	鷹巣南小学校の児童	100	工学資源学研究所
	【北秋田分校】北秋田市子ども科学教室 おもしろサイエンス	22.10.23(土)	小・中学校児童生徒 理科・社会科研究発表会 の参加者	250	工学資源学研究所
	3大学連携in湯沢(秋田県立大学、国際教養大学との連携事業)	11. 6(金)	どなたでも	206	社会貢献推進室 産学連携推進機構
	北秋田分校開設記念式典 及び 記念講演会	22.11.17(水)	どなたでも	240	社会貢献推進室 企画広報課
	【横手分校】平成22年度大学改革シンポジウム 「地域に開いた大学の”コンシェルジュ・デスク”~秋田大学横手分校 からの発信~」	22.11.19(金)	自治体関係者、 市民	230	横手分校 教育文化学部
	【横手分校】メディカル・サイエンスカフェin横手	22.11.24(水)	どなたでも	110	横手分校 医学系研究所
	【北秋田分校】小学校教員のための英語音声研修	22.12.4(土) ・ 12.11(土)	小学校教員、講師、 民間で英語教育をして いる方	25	社会貢献推進室
	秋田大学 八峰町連携協定締結記念講演会	22.12.10(金)	どなたでも	120	社会貢献推進室 企画広報課
	【横手分校】中学生向け科学教室「カラフル化学の実験室」	23.1.7(金)	中学生	12	横手分校 工学資源学研究所
	【横手分校】天文イベントを開こう~天文ボランティア養成講座~	23.1.29(土)	小・中・高校教員 天文サークルの方 (高校生以上)	8	社会貢献推進室 教育文化学部
	【北秋田分校】山の芋料理コンクールへの学生参加	23.2.24(木)	秋田大学生	6	医学部保健学科学学生5名、 留学生1名参加
	大仙市立刈和野小学校理科教室 楽しい・おいしい キッチン火山教室	23.2.25(金)	刈和野地区小学校3 年生	62	教育文化学部
横手分校学生地域交流「秋田大学オフィシャルいぶりがっこ製造プ ロジェクト」				教育文化学部生活者科学 長沼研究室	
地域 アカデミー	2010年度秋田大学地域アカデミー	22. 9.27(月) ~ 10. 1(金)	どなたでも	14	教育文化学部 工学資源学研究所
その他 (社会貢献 推進室主催)	秋田大学講演会 『「はやぶさ」小惑星の秘密に挑んだ7年の旅』	22. 7.13(火)	どなたでも	554	
	秋田大学子ども見学デー	22. 8.20(金)	小・中学生親子	179人 (72家族)	全学
	秋田大学インフォメーションセンターピアノコンサート	22. 9.14(火)	学生・教職員・市民	45	社会貢献推進室 企画広報課 教育文化学部
	秋田大学客員教授 浅利香津代講演会「ふるさと と 私」	22.10.12(火)	どなたでも	145	産学連携推進機構 社会貢献推進室
	NHK放送技術セミナー	23.1.28(金)	学生、市民	50	社会貢献推進室

競争的資金による事業	事業名	開催時期	対象者	者数	担当教員、担当部署
	平成21年度社会とつなぐ理数教育プログラムの開発 「理科大好き☆夢発見プロジェクト～人のからだ マクロからミクロ～」	平成21～22年度(2年間)	中学生	1学年 (50名)	教育推進総合センター 医学系研究科
他部局主催 (年度計画推進 経費による)	トップレベル高校生のための地学ゼミナール	22.5 ～ 22.9	高校生	7	教育文化学部
	第10回秋田メディカル・サイエンスカフェ	22.6.19(水)	どなたでも	100	医学系研究科
	親子環境教室～身近なエコと科学技術～	22.7.31(土)	小学生と親子	8	工学資源学研究所
	子ども食農体験教室	22.6 ～ 23.1	小学生と親子	10	教育文化学部
	土崎水ロケット教室	22.8.7(土)	小学生	20	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
	第6回能代宇宙イベント	22.8.19(木) ～ 8.22(日)	小・中・高校生、大 学生、市民	約400	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
	第3回子どもものづくり教室～モデルロケット教室基礎編～	22.9.25(土)	小中学生	25	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
	第11回秋田メディカル・サイエンスカフェ	22.9.28(火)	どなたでも	84	医学系研究科
	金属とセラミックスの子ども作り教室	22.10.16(土)	小学生	20	工学資源学研究所
	秋大憩いのコンサート(全6回)	22.10.30(土) ～ 23.3.19(土)	どなたでも		教育文化学部
	秋田大学総合技術部テクノフェスタ2010 ー技術体験フェスター	22.11.6(土)	どなたでも	401	総合技術部
	第12回秋田メディカル・サイエンスカフェ	22.12.6(月)	どなたでも	75	医学系研究科
	秋田土壌浄化コンソーシアム 平成22年度教育・啓発事業 子ども科学教室「土を科学しよう 環境をはかろう」	22.12.25(土)	小学生	40	工学資源学研究所
	第4回子どもものづくり教室～「手作りホバークラフト」製作～	22.12.18(土)	小中学生	13	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
	第5回子どもものづくり教室～「電子ホタル」製作～	23.1.22(土)	小中学生	20	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
	第6回子どもものづくり教室～「ポンポン船」制作～	23.2.26(土)	小中学生	23	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター
第7回子どもものづくり教室～「傘ラジオ」制作～	23.3.26(土)	小中学生	19	工学資源学研究所附属もの づくり創造工学センター	
その他	大学訪問受入	随時		15校 210人	
	「がん」を知って大切な人を守ろう(高校生対象公開講座)	22.10.9(土)	高校生	107	医学系研究科保健学専攻
	「秋田大学キャンパスガイドマップ」の作成				
	秋田県赤十字血液センターによる献血事業への協力				
	しらせ南極探検隊100周年記念実行委員会主催事業協力				
	募金活動(チリ地震、青海省地震、宮崎県口蹄疫被害、東北関東大 震災)				
	樹種プレート製作、設置(手形キャンパス)				社会貢献推進室 施設保全課

【平成22年度 教育推進総合センター社会貢献推進部門員】

番号	職名	氏名	任期	備考	
1	社会貢献推進部門長	教育推進総合センター 専任教員 教授	銭谷 秋生	規程第7条第2項 平成21年4月1日～	在任期間
2	社会貢献推進部門員	教育文化学部 教授	佐々木 雅子	規程第9条第2号 平成22年4月1日～平成24年3月31日	
3		医学系研究科 教授	村田 勝敬	規程第9条第2号 平成21年4月1日～平成23年3月31日	
4		工学資源学研究科 教授	伊藤 英晃	規程第9条第2号 平成22年4月1日～平成24年3月31日	
5		教育推進総合センター 専任教員 准教授	細川 和仁	規程第9条第3号 平成21年4月1日～	在任期間
6		教育推進総合センター 専任教員 助教	ジョー サイクス	規程第9条第3号 平成22年4月1日～	在任期間
7		教育推進総合センター 専任教員 助教	濱田 陽	規程第9条第3号 平成22年4月1日～	在任期間
8		医学系研究科 教授	石井 良和	規程第9条第4号 平成21年4月1日～平成23年3月31日	協力教員
9		産学連携推進機構 専任教員 准教授	森川 茂弘	規程第9条第4号 平成22年4月1日～平成24年3月31日	協力教員
10		教育推進課長	武石 孝憲	規程第9条第5号	在任期間
11		社会貢献推進室長	藤井 和明	規程第9条第5号	在任期間

【社会貢献推進室】

職名	氏名	備考
社会貢献推進室長	藤井 和明	
社会貢献担当	武内 亜紀子	
社会貢献担当	山方 遥	
社会貢献担当	小番 未斗理	
社会貢献担当	辻 友佳	平成22年8月 退職
社会貢献担当	渡邊 まどか	
社会貢献担当	加藤 三保子	平成22年9月 採用
東京サテライト	石橋 美奈	
社会貢献担当(横手分校)	石成 美穂子	



学内協力教員等一覧

所属等		氏名
教育文化学部教科教育学講座	教授	佐々木雅子
教育文化学部教科教育学講座	教授	藤田静作
教育文化学部教科教育学講座	准教授	川村教一
教育文化学部音楽教育講座	准教授	齋藤洋
教育文化学部音楽教育講座	准教授	佐川馨
教育文化学部音楽教育講座	准教授	武内恵美子
教育文化学部音楽教育講座	准教授	爲我井壽一
教育文化学部障害児教育講座	教授	今野和夫
教育文化学部障害児教育講座	教授	武田篤
教育文化学部障害児教育講座	准教授	内海淳
教育文化学部附属教育実践研究支援センター	教授	浦野弘
教育文化学部附属教育実践研究支援センター	准教授	姫野完治
教育文化学部政策科学講座	教授	中村裕
教育文化学部政策科学講座	准教授	石沢真貴
教育文化学部生活者科学講座	教授	長沼誠子
教育文化学部生活者科学講座	准教授	池本敦
教育文化学部日本・アジア文化講座	教授	佐藤稔
教育文化学部日本・アジア文化講座	教授	志立正知
教育文化学部日本・アジア文化講座	教授	日高水穂
教育文化学部欧米文化講座	教授	立花希一
教育文化学部欧米文化講座	准教授	大西洋一
教育文化学部欧米文化講座	准教授	長谷川章
教育文化学部欧米文化講座	講師	佐藤猛
教育文化学部自然環境講座	教授	井上正鉄
教育文化学部自然環境講座	教授	林信太郎
教育文化学部自然環境講座	准教授	石井照久
教育文化学部自然環境講座	准教授	成田憲二
教育文化学部自然環境講座	准教授	本谷研
教育文化学部環境情報講座	准教授	上田晴彦
教育文化学部技術部	総括技術長	逸見洋子
教育文化学部技術部基礎技術系	技術長	成田堅悦
教育文化学部技術部基礎技術系	技術専門員	毛利春治
教育文化学部技術部基礎技術系	技術職員	山下清次
医学系研究科医学専攻器官病態学講座	助教	高橋正人
医学系研究科医学専攻生体防御学講座	教授	石井聡
医学系研究科医学専攻眼科学講座	教授	吉富健志
医学系研究科医学専攻精神科学講座	助教	武村史
医学系研究科医学専攻器官・統合生理学講座	副研究科長・副学部長・教授	河谷正仁
医学系研究科医学専攻循環器・呼吸器内科学講座	講師	佐野正明
医学系研究科医学専攻産婦人科学講座	准教授	藤本俊郎
医学系研究科医学専攻法医科学講座	教授	美作宗太郎
医学系研究科医学専攻公衆衛生学講座	研究科長・学部長・教授	本橋豊
医学系研究科医学専攻公衆衛生学講座	准教授	金子善博
医学系研究科医学専攻医科学情報学・国際交流学講座	教授	中村彰
医学系研究科医学専攻医科学情報学・国際交流学講座	准教授	片平昌幸
医学系研究科保健学専攻基礎看護学講座	准教授	佐々木久長
医学系研究科保健学専攻臨床看護学講座	教授	米山奈奈子
医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座	教授	柳屋道子
医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座	准教授	鈴木圭子
医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座	助教	熊澤由美子

所属等		氏名
医学系研究科保健学専攻理学療法学講座	准教授	佐竹将宏
医学系研究科保健学専攻理学療法学講座	助教	齊藤明
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	教授	石井良和
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	准教授	石川隆志
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	准教授	金城正治
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	助教	石井奈智子
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	助教	津軽谷恵
医学系研究科保健学専攻作業療法学講座	助教	高橋恵一
医学部総合地域医療推進学講座	寄附講座教授	長谷川仁志
医学部附属病院第三内科	医員	奈良美保
医学部附属病院緩和ケアセンター	センター長・講師	片寄喜久
医学部附属病院薬剤部	薬剤部主任	庄司学
医学部附属病院看護部	副看護部長	三浦京子
医学部附属病院看護部	看護師	佐藤圭子
医学系研究科・医学部医事課医療サービス室	主任医療ソーシャルワーカー	小川江美
工学資源学研究科地球資源学専攻	教授	西谷忠師
工学資源学研究科地球資源学専攻	教授	水田敏夫
工学資源学研究科地球資源学専攻	教授	佐藤時幸
工学資源学研究科地球資源学専攻	准教授	大場司
工学資源学研究科地球資源学専攻	准教授	山口伸次
工学資源学研究科地球資源学専攻	助教	網田和宏
工学資源学研究科環境物質工学専攻	教授	中田真一
工学資源学研究科環境物質工学専攻	准教授	加藤純雄
工学資源学研究科環境物質工学専攻	准教授	進藤隆世志
工学資源学研究科環境物質工学専攻	講師	井上幸彦
工学資源学研究科環境物質工学専攻	助教	小笠原正剛
工学資源学研究科生命科学科	教授	小川信明
工学資源学研究科生命科学科	助教	藤原一彦
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	麻生節夫
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	菅原茂夫
工学資源学研究科材料工学専攻	教授	泰松齊
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	大口健一
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	佐藤芳幸
工学資源学研究科材料工学専攻	准教授	魯小葉
工学資源学研究科材料工学専攻	講師	辻内裕
工学資源学研究科材料工学専攻	助教	仁野章弘
工学資源学研究科材料工学専攻	助教	長谷川崇
工学資源学研究科情報工学専攻	教授	五十嵐隆治
工学資源学研究科機械工学専攻	教授	村岡幹夫
工学資源学研究科機械工学専攻	准教授	長縄明大
工学資源学研究科機械工学専攻	教授	田子真
工学資源学研究科電気電子工学専攻	教授	田島克文
工学資源学研究科土木環境工学専攻	助教	城門義嗣
工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター	センター長・教授	神谷修
工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター	副センター長・助教	和田豊
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	教授	石山大三
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	教授	齊藤準
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	教授	林滋生
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	准教授	福留高明
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	准教授	山本修
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	准教授	吉村哲

所属等		氏名
工学資源学研究科附属環境資源学研究センター	講師	村上英樹
工学資源学研究科	特任教授	菅井幹夫
工学資源学研究科	非常勤講師	野村正幸
工学資源学研究科	非常勤講師	井原博之
工学資源学研究科技術部機能物質工学系	技術専門員	小松芳成
工学資源学研究科技術部機能物質工学系	技術専門員	菅原和久
工学資源学研究科技術部電気電子情報工学系	再雇用技術職員	加藤隆一
工学資源学研究科	技術系補佐員	野村裕也
工学資源学研究科	技術系補佐員	前田恵介
総合情報処理センター	准教授	吉崎弘一
総合情報処理センター	総括主査	松本喜良
総合情報処理センター	技術専門職員	小林俊央
総合情報処理センター	技術専門職員	正木忠良
総合情報処理センター	技術職員	鷲谷貴洋
総合情報処理センター	技術系補佐員	大友幹子
教育推進総合センター	教授	銭谷秋生
教育推進総合センター	助教	濱田陽
教育推進総合センター	助教	ジョー・サイクス
国際資源学教育研究センター	准教授	高崎康志
名誉教授		松葉谷治
名誉教授		幸野稔
客員教授		浅利香津代
客員教授		西木正明

平成22年度秋田大学公開講座

# 環境と資源が誘う 先端科学の旅

① 8月25日◎  
秋田県中央部を流れる玉川・雄物川水系の  
河川水の化学組成の特徴  
秋田大学工学資源学研究所 教授 石山 大三

② 9月1日◎  
無機系生体材料の温故知新  
～インプラント～  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 准教授 山本 修

③ 9月8日◎  
コナにまつわるよもやま話  
～先端セラミックス工学から  
健康に関わる問題まで～  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 教授 林 滋生

④ 9月15日◎  
ナノテクに役立つ  
「力を見る顕微鏡」の開発  
～パソコンの部品を見てみよう～  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 教授 齊藤 準

⑤ 9月22日◎  
磁石が声を記憶する？  
～磁気記録方式の基本原則と最新動向～  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 准教授 吉村 哲

⑥ 9月29日◎  
秋田県の主要資源  
「珪土とゼオライト」の可能性  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 講師 村上 英樹

⑦ 10月6日◎  
生活者のための環境資源学  
秋田大学工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所 准教授 福留 高明

時間：18:30～20:00  
会場：カレッジプラザ  
(秋田市中通2丁目1-51)  
対象：どなたでも  
受講料：3,500円  
※受講料は初回授業にお支払いください。

お申込み・お問い合わせ **秋田大学** 社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成22年度秋田大学公開講座

# 能楽講座

能楽と体験を通して能に親しむ

日本に代々の歴史を伝承する能である能は、五百年以上の歴史があり、ユネスコの世界遺産にも登録されている。海外でも高い評価を得る能の芸術は、その魅力ゆえに難しといわれることも多くありますが、本講座では、歴史や音楽、演目の分類などについて、基礎知識を学ぶ、また解説を聴いた後、能楽の魅力を体験し、能の世界に親しむ機会を設けたい。能楽の世界をセターで味わうには、国際日本文化研究センターで新たな試みを、作曲家の武内基朗氏に知りていただきます。

9月19日◎  
第1回 「能の概要」  
14:00～16:30 (15分休憩あり)  
会場：教育文化学部2号館140講義室  
(秋田大学手形キャンパス内)  
定員：30名  
※定員に達し次第締め切りいたします。  
対象：どなたでも  
受講料：2,500円  
※講師料に含むお支払いください。  
お申込み方法：  
電話、FAX、Eメールでお申込みいただくか、秋田大学社会貢献推進室窓口にお越しください。  
〒018-8501 秋田大学  
社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

9月26日◎  
第2回 「代表作品の解説と鑑賞」  
講師 秋田大学教育文化学部 武内 恵美子 准教授

10月3日◎  
第3回 「狂舞体験」  
特別講師 武内 基朗 (第5回)

10月10日◎  
第4回 「囃子体験」  
作曲家 武内 基朗 (第5回)

10月17日◎  
第5回 「能と西洋音楽」

お申込み・お問い合わせ **秋田大学** 社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

秋田大学では、平成19年度より大学院レベルの自殺予防学コースの開設を開始し、好評を得て今年度もインテンシブコースを実施することになりました。地域等の現場で自殺対策に関わっている実務の専門家を対象に、自殺総合対策の現状と今後の展望を理解し、現場での対策推進に役立てることをめざし開催いたします。

## 平成22年度秋田大学公開講座 総合自殺予防学 インテンシブコース

第1回 10月1日◎  
精神科医として  
地域の自殺対策に  
関わる  
岩手医科大学  
精神科科学講座  
講師 大塚 耕太郎

第2回① 10月8日◎  
健康の不平等と  
社会格差  
山口大学  
医学部地域保健推進学講座  
教授 福田 吉治

第2回② 10月8日◎  
秋田県における  
自殺の現状  
秋田大学大学院  
医学系研究科保健衛生学講座  
准教授 金子 善博

第3回 10月15日◎  
自殺対策と  
「新しい公共」  
秋田大学大学院  
医学系研究科長・医学部長  
公衆衛生学講座  
教授 本橋 豊

第4回 10月22日◎  
ワークショップ  
地域における  
自殺予防活動を  
考える  
秋田大学大学院  
医学系研究科保健衛生学専攻  
准教授 佐々木 久長

第5回 11月5日◎  
国の最新の  
自殺対策の動向  
内閣府自殺対策推進室  
企画官 齊藤 啓

日時 平成22年10月1日(金)～11月5日(金)  
15:00～17:00  
※10月29日(土)を除く、毎週金曜日。  
会場 カレッジプラザ  
(秋田市中通2丁目1-51) 期間中2日(2期)  
対象 保健師、行政担当者、メンタルヘルスサポーター  
(定員30名)  
※定員になり次第締め切りさせていただきます。  
受講料 2,500円  
※講師料に含むお支払いください。  
お申込み方法  
電話、FAX、Eメールでお申込みいただくか、秋田大学社会貢献推進室窓口にお越しください。  
申込期間 9月30日まで受付ですが、定員になり次第締め切ります。

お申込み・お問い合わせ **秋田大学** 社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成22年度秋田大学公開講座

# 中世ヨーロッパの世界

王と貴族そして西洋諸国の原風景

*King, Nobles and State Formation in Medieval Europe*

中世ヨーロッパという言葉、一度は耳にしたことがあると思います。「中世」は今から千年近くさかのぼり、私たちがまったく異なる価値観をもった人々や社会が登場します。しかし、そこで育まれた文化や制度は現在にも伝わり、私たちの一部ともなっています。本講座では、現代ヨーロッパを代表する英国、フランス、ドイツといった国にたどるような経緯で生まれ、王や貴族はそうした中世の国にをいかにして治めたのかを、皆さんと一緒に考えたいと思います。

秋田大学教育文化学部欧米文化講座  
**佐藤 猛** 講師

会場：カレッジプラザ  
(秋田市中通2丁目1-51)  
日時：平成22年10月6日◎  
～11月10日◎  
毎週水曜日5回シリーズ  
18:30～20:00  
受講料：2,500円  
※受講料は初回授業にお支払いください。  
対象：どなたでも(定員30名)  
※定員になり次第締め切りいたします。

お申込み  
お問い合わせ **秋田大学** 社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成22年度秋田大学公開講座

# 共に生きられる 社会をめざして 「発達障害の理解と支援」

障害のある人もない人も共に生きられる社会をめざす「トーマセイション」や「インクルージョン」の理念が着実に社会の中に浸透してきています。そして、私たちが新たな障害への理解と対応が求められています。それが、今回とりあげる自閉症やアスペルガー症候群、LD（学習障害）、AD/HD（注意欠陥・多動性障害）などの「発達障害」です。

本講座では、この新たな障害について理解を深めることも、本人だけでなく家族を含め、さらに幼児・児童期から青年期にわたる長期的な視点から発達障害のある方々の方性について、共に生きて行きたいと思えます。

第1回 10月29日  
「発達障害の理解と支援」  
秋田大学教育文化学部  
障害児教育講座  
武田 篤 教授

第2回 11月5日  
「発達障害と就労支援」  
秋田大学教育文化学部  
障害児教育講座  
内海 淳 准教授

第3回 11月12日  
「発達障害と家族支援」  
秋田大学教育文化学部  
障害児教育講座  
合野 和夫 教授

日時 平成22年  
10月29日(金)～11月12日(金)  
18:30～20:00

会場 カレッジプラザ  
(秋田市中通2丁目1-51 明徳館ビル2階)

対象 どなたでも(定員:30名)  
※定員に達し次第締め切りいたします。

受講料 1,500円  
※講座初回に受付にてお支払いください。

お申込み方法  
電話、FAX、Eメールでお申込みいただくか、  
秋田大学社会貢献推進室窓口にお越しください。

主催：秋田大学 共催：大学コンソーシアムあきた  
社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimmu.akita-u.ac.jp  
WWW: http://www.wakoku.ac.jp

お申込み・お問合わせ  秋田大学

平成22年度秋田大学公開講座

# もっと知りましょう、 緩和ケア

今や国民の2人に1人が がんにかかり、3人に1人が がんで亡くなる時代です。そんな中、緩和ケアという言葉が注目を浴びています。一部ではまだ、終末期やもう治療ができない方だけが受けるものと誤解されがちです。緩和ケアを正確に、もっと知っていただきたいと思い、この講座を開設しました。

第1回 平成23年1月11日(火)  
18:30～20:10

①緩和ケアとはなんだろう。  
～痛みのコントロールはしっかり出来る時代です～  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
センター長・講師 片寄 喜久

②麻薬は怖い薬なの？～医療用麻薬について～  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
がん薬物療法認定薬剤師 庄司 学

③自分らさってなんだろう？  
～病気と向き合うあなたらしさを支える緩和ケア-Part 1-～  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
緩和ケア認定看護師 佐藤 圭子

第2回 平成23年2月8日(火)  
18:30～20:10

①心のつらさとは？  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
助教 武村 史

②自分らさってなんだろう？  
～病気と向き合うあなたらしさを支える緩和ケア-Part 2-～  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
緩和ケア認定看護師 三浦 京子

③医療費助成制度や  
社会保障等の活用について  
秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
メディカルソーシャルワーカー 小川 江美

各30分 3講義

会場 カレッジプラザ  
(秋田市中通2丁目1-51 明徳館ビル2階)

対象 どなたでも受講できます(定員:40名)  
※定員に達し次第締め切りいたします。

受講料 1,000円  
※講座初回に受付にてお支払いください。

お申込み方法  
電話、FAX、Eメールでお申込みください。  
(秋田大学社会貢献推進室窓口でも受け付けております)

お申込み・お問い合わせ  秋田大学

主催：秋田大学 共催：大学コンソーシアムあきた  
社会貢献推進室 ☎018-889-2270 ☎018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimmu.akita-u.ac.jp  
秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

# 秋田学

平成22年度 秋田大学東京サテライト教養セミナー

## 「秋田学」を学ぶ

日時/平成22年 5月28日(金) 13:30～16:00  
10月29日(金) 13:30～16:00

会場/キャンパス・イノベーションセンター東京 2階 多目的室3  
(東京都港区芝浦3-3-6) **入場無料** **申込必要**

**5月28日(金) 13:30～16:00**  
モノガタリの誕生／(歴史)の創造  
—秋田の八幡太郎義家伝承—  
教育文化学部教授 志立 正知  
雅楽と秋田の意外な？関係  
—礼楽思想からのアプローチ—  
教育文化学部准教授 武内 惠美子

**10月29日(金) 13:30～16:00**  
秋田県の高山植生  
—過去、現在、未来—  
教育文化学部准教授 成田 憲二  
秋田における地球熱利用促進の取り組み  
工学資源学研究所准教授 山口 伸次

申し込み・問い合わせ先  
秋田大学東京サテライトオフィス  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6  
キャンパス・イノベーションセンター東京6階 604号  
TEL/FAX: 03-5440-9104  
E-mail: satellite@jimmu.akita-u.ac.jp

秋田大学社会貢献推進室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3162  
E-mail: shakoken@jimmu.akita-u.ac.jp

主催 秋田大学  
後援 秋田県、首都圏秋田県人会連合会、  
在京秋田県高等学校同窓会連合会、  
秋田大学全学同窓会

# 秋田大学北秋田分校 開設記念行事

記念講演テーマ  
「わたしの小説の  
書き方」

秋田大学客員教授 西木 正明

次第  
14:00～14:10  
上掲式 (於:北秋田市役所庁舎正面入口)  
北秋田市長 津谷 永光 秋田大学長 吉村 昇

14:15～14:45  
記者会見 (於:北秋田市役所3階大会議室)  
北秋田市長 津谷 永光 秋田大学長 吉村 昇 (後援:秋田県行政文化振興課)

15:00～16:30  
記念講演会 (於:北秋田市交流センター)  
秋田大学客員教授 西木 正明

平成22年 11月17日

北秋田市役所  
北秋田市交流センター

秋田大学  AKITA UNIVERSITY

社会貢献推進室 電話:018-889-2270 / FAX:018-889-3162 E-mail: shakoken@jimmu.akita-u.ac.jp 秋田大学HP <http://www.akita-u.ac.jp/>

秋田大学横手分校主催

# メディカル・サイエンスカフェ in 横手

日時 平成22年11月24日(水) 18:00~19:30  
 会場 横手市ふれあいセンターかまくら館 5F  
 申込 電話、FAX、E-mailでお申し込みください。(①~④をお知らせください。)  
 ①氏名 ②電話番号 ③年齢 ④住所(横手分校の案内を希望する方)  
 話題

## 『動脈硬化発症のメカニズムと 予防・治療のポイント』

—市民の皆さんが、動脈硬化疾患(脳卒中・心臓病・腎臓病)の 予防・治療を理解し実践するために知っておくべき最新情報—

サイエンスカフェ・マスター

話題提供者 **河谷 正仁 先生** (秋田大学大学院医学系研究科副研究科長)

長谷川 仁志 先生 (秋田大学医学部総合地域医療推進学講座寄附講座教授)

- ① 日本社会にとって、なぜ、若年からの動脈硬化対策が重要なのか?
- ② タバコ、高血圧、糖尿病、脂質異常症が、日々動脈硬化を進行させる機序とは?
- ③ もうはじまっています。10代からの日々の生活で血管を守る重要ポイントは?
- ④ より早期、より重症からの対策が重要: 全国で約4000万人が罹患 市民の皆さんが知っておくべき高血圧の最新治療指針とは?
- ⑤ タバコの危険性は、メタボどころではない真実とは?
- ⑥ なぜ、油断すると体重は、すぐ戻って(増え)しまうのか? その原因は、長い人類の歴史にあった。
- ⑦ 無理ない減量・体重コントロールの工夫・ポイント・注意点は? についてわかりやすく解説いたします。

メディカル・サイエンスカフェとは...?

サイエンスカフェは、市民の皆さんと科学の世界との交流の場として、気軽に訪れていた「喫茶店」です。最新の医学研究の成果をわかりやすく解説。その後、参加者の方々と自由に意見交換をします。

※開催日: 無料です。簡単な飲み物も用意しておりますので、どなたでもお気軽にお越しください。

お申込 秋田大学 横手分校 <http://www.akita-u.ac.jp/>  
 TEL:0182-36-8304 FAX:0182-33-6061  
 E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

小学校教員のための **英語音声研修** 主催: 秋田大学

平成23年度から小学校5年生と6年生を対象に外国語活動が本格導入されます。その前に音声重視の体験学習という小学校外国語(英語)活動の意義を理解しながら、日本語と比較して英語音声の特徴と発音表記を学びましょう。

…でも、「発音より内容だ」「発音まではちょっと細かいな…」「発音指導は母語話者でないと…」なんて思っていないですか?

それは誤解です! 多くの日本人の子どものために英語の世界への第一歩は教師の英語から始まります。母語話者の助力は大事ですが、日本人教師も英語らしく発音するためのある程度の知識(コツ)とスキルを持つ必要があります。

### 英語音声のコツをつかみ、小学校英語活動を自信を持って指導できる素地と音声スキルを習得しましょう!

第1回 基礎編 12月4日(土)  
 1. 小学校外国語(英語)活動の意義と音声指導のあり方  
 2. 英語音声の基本的特徴  
 3. 英語の発音表記: 発音記号とカナ表記

第2回 応用編 12月11日(土)  
 1. 英語の強勢、リズム、イントネーション、音変化  
 2. 応用練習: 教室英語、英語の歌とチャンツ

講師: 秋田大学名誉教授 **幸野 稔 先生**  
 ◆東京外国語大学卒、シドニー大学大学院専攻科修了  
 ◆研究分野は英語教育学と英語音声学

時間: 13:30~16:40 ※10分休憩を挟みます。  
 対象: 小学校教諭、講師、民間教育機関で小学生に英語を教えている方  
 会場: 北秋田市 中央公民館(北秋田市花園町15-1)  
 申込: 随時 ※事前のお申し込みが必要です。  
 定員: 20名程度

<申込・問い合わせ先>  
**秋田大学** 社会貢献推進室  
 TEL:018-899-2270  
 FAX:018-899-3162  
 E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

# 八峰町 秋田大学 Happou Town Akita University

## 連携協定締結記念講演会

講演テーマ  
**「ジオパーク認定申請と 町の活性化について**  
 —島原半島・糸魚川両ジオパークに学ぶ—

秋田大学教育文化学部教授 **林 信太郎**

平成22年 14:00-14:15 連携協定締結式  
 14:15-14:20 観客見聞  
 14:30-15:30 締結記念講演会

12月10日(金) 八峰町文化交歓センターファガス

秋田大学 社会貢献推進室 TEL:018-899-2270 FAX:018-899-3162  
 E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

## 中学生向け科学教室

# カラフル化学の実験室

主催: 秋田大学横手分校  
 共催: 日本化学会東北支部 プロジェクト4A 大学コンソーシアムあきた

化学って難しそう…

**そんなことはありません!**  
 楽しみながらできる化学実験もいっぱいあります。見て、触って、不思議で幻想的な化学の世界を体験してみませんか?  
**参加無料!** 気軽に申し込めてね!

先生は 秋田大学大学院工学資源学研究所 **井上 幸彦 先生**  
 いのうえ ゆきひこ

どんな実験をするの?  
 鮮やかな色をつくろう  
 中身が変わる魔法のピン  
 カラフルランプ  
 光るフラスコ  
 次々に色が変わるフラスコ などなど…

対象 **中学生の皆さん** 定員20名  
 会場 **秋田ふるさと村 手作り体験工房**  
 日時 **平成23年1月7日(金) 午後1時~2時半**

事前の申込が必要です! お気軽にお電話ください。  
 申込・問合せ先 **秋田大学** 横手分校 <http://www.akita-u.ac.jp/>  
 TEL:0182-36-8304 FAX:0182-33-6061  
 E-mail:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

天文イベントを開こう! 主催：秋田大学横手分校

# 天文ボランティア養成講座

地域で開催される天文イベントや小中学校での夜間観察会を支援することを天文ボランティアといいます。その活動は地域の天文教育の普及に大きく貢献できますが、開催されるイベントの数が少ないため、天文ボランティアが自らイベントを企画・実施することが期待されます。本講座では、天文イベントにはどのような種類があるのか、どのようにして計画し、実施するのかについて学習し、イベント企画書作成と発表、意見交換を行います。

**日時：平成23年1月29日(土) 13:00~16:00.**  
**会場：よこてシャイニーパレス 5F (横手市駅前町6-22)**  
**対象：**天文ボランティア・サークルの方、小・中・高校理科教員、天文イベントの企画、運営に興味があり、自ら企画・実施したい方(高校生以上)  
**定員：30名(事前申込が必要です)**  
**内容：4~5人のグループで行います。**  
 第一部 講座の概要と天文イベントの説明、課題設定  
 第二部 天文イベントの企画書の作成  
 第三部 天文イベントの発表会・意見交換

**講師：秋田大学教育文化学部技術専門員(天文台) 毛利 春治(もうり しゅんじ)**

秋田大学 横手分校  
 TEL 0182-34-3304 FAX 0182-33-905  
 E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

平成22年度秋田大学講演会 主催/秋田大学 写真提供/JAXA

# 「はやぶさ」

## 小惑星の秘密に挑んだ7年の旅

60億kmの宇宙の旅を経て、先日地球に帰還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」。地球から約3億km離れた小惑星・イトカワを目指し旅立ったのは7年前、目的は太陽系誕生の秘密を探るため、イトカワの砂を地球に持ち帰ることでした。この7年間、はやぶさの宇宙の旅を見守り続けた川口教授が講演、はやぶさプロジェクトの目的と主な科学技術成果に触れ、また特に、復路の航海を中心に、運用上のトラブルと、それを克服してきたプロジェクトチームの活動を紹介します。

講演テーマ  
**「小惑星探査機『はやぶさ』の開発から打ち上げ、帰還まで」**

川口 淳一郎 教授  
 JAXA 宇宙航空研究開発機構 小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトマネージャとして、はやぶさの開発から打ち上げ、帰還までの指揮をとった。秋田大学大学院工学資源学研究所において、毎年集中講義を担当する非常勤講師を務めている。

事前申込が必要です。  
 定員は **先着順で250名**。  
 お申込みはお早め!!  
 参加御希望の方は ①氏名 ②学年・年齢 ③電話番号  
 ①~③を電話・FAX・Eメールのいずれかで下記までお知らせください。

**日時：平成22年7月13日(火) 18:00~19:30**  
**会場：秋田大学60周年記念ホール (教育文化学部3号館145講義室)**  
**対象：一般市民、小・中・高校生**

お申込 秋田大学 社会貢献推進室 TEL 018-889-2270 FAX 018-889-3162  
 お問い合わせ先 shakoken@jimu.akita-u.ac.jp 秋田大学 HP http://www.akita-u.ac.jp/

# 秋田大学インフォメーションセンター ピアノコンサート

この度、秋田大学インフォメーションセンターにグランドピアノが設置されました。地域の皆さまに知恵に大学に足を運んでいただき、秋田大学の音楽系教員の活躍を知っていただく機会として、10月より、月1回の「曲へのコンサート」を開催する予定です。  
 ピアノの総練習曲として第1回コンサートでは、今年、生誕200年を迎えた「ピアノの達人」ショパンの作品を弾奏を交えて演奏します。

**平成22年 9月14日(火) 14:00~15:00 (13:45受付開始)**  
**会場 秋田大学インフォメーションセンター**  
**定員 35名**  
**プログラム**  
 1. 学長挨拶  
 2. おしこべりピアノコンサート  
 ~ 生誕200年 ショパンの謎 ~  
 演奏：教育文化学部音楽教育講座 准教授 斎藤 洋  
 曲目：ノクターン 変イ長調 op.9-2 エチュード ホ長調 op.10-3 「別れの曲」 ボロネーズ 変イ長調 op.53「英雄」 ほか

定員で締切とさせていただきますので、参加ご希望の方は、事前に下記までお申し込みください。

秋田大学 申込・問合せ先 社会貢献推進室  
 TEL 018-889-2270 E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学客員教授

# 浅利香津代 講演会

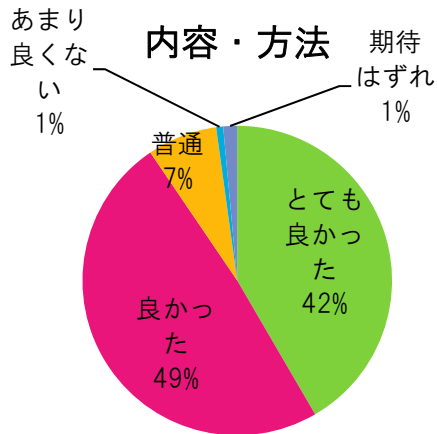
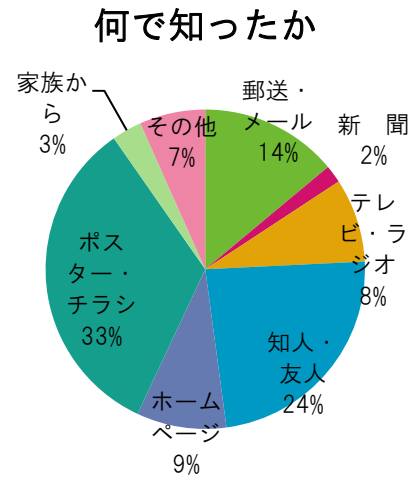
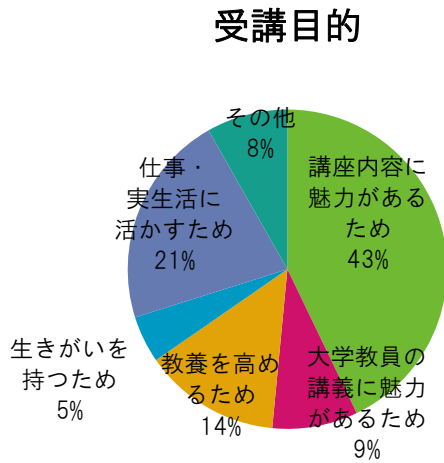
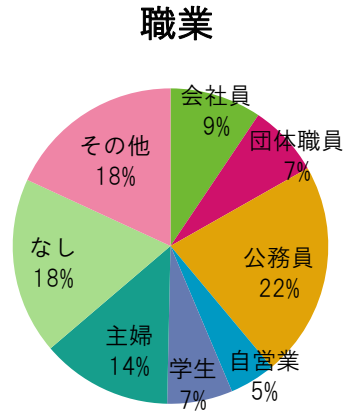
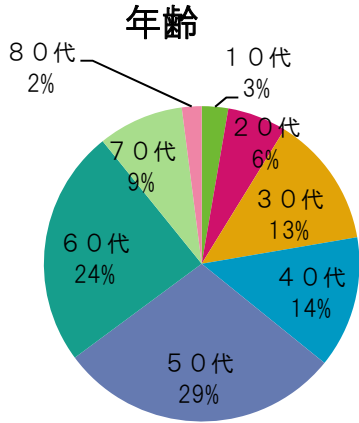
## ふるさとと私

浅利 香津代(あざり かずよ) 本名 浅利和子、秋田出身。  
 秋田大学文学部国文学科、秋田北高等学校、日本女子大学文学部国文学科卒業。女優・宝月歌子に師事。新劇団新入会に入社。退団後、劇団前進隊に入社。中村松子等に師事。退団後、フリーとして現在に至る。日本舞踊・漫才舞の名師。  
 舞台公演のほか、NHK連続テレビ小説「涙のしほひの人」、NHK大河ドラマ「長あつ」(役：徳川三代)、映画「龍馬伝」などに依頼多数。多方面に才能を花開、演技や講演会においては人間の生き方や地方の発展をテーマに語る。平成22年から秋田大学客員教授。

**日時 平成22年10月12日(火) 17:30~18:30 (17:00受付開始)**  
**会場 秋田大学60周年記念ホール (教育文化学部3号館145講義室)**  
**入場 無料** (事前申込が必要。下記までお名前・ご連絡先電話番号をお知らせください。)  
**定員 250名** (ごなだてにご参加いただけます。)

お申込 秋田大学 社会貢献推進室 TEL 018-889-2270 FAX 018-889-3162  
 お問い合わせ先 shakoken@jimu.akita-u.ac.jp 秋田大学 HP http://www.akita-u.ac.jp/

# 平成22年度公開講座アンケート集計結果



公開講座総受講者数	247名
アンケート回答者数	150名



# アンケート結果 分析

## 1. 受講生の年齢について

最も多いのが「50代」の29%、次いで「60代」の24%であり、この二つの年代だけで過半数を占める。自分自身の学びを大切にするシニア層の参加が多いのは、昨年から引き続き見られる傾向だが、今年度は更に年齢層が上がった。

年齢層が上がると、交通の便が良い会場を希望する声が増加する傾向があるため、今後の講座開講の際には考慮していきたい。

## 2. 受講者の職業について

昨年に引き続き、公務員が最も多くの割合を占めた。これはやはり昨年と同じく、「総合自殺予防学インテンシブコース」の開催により、行政機関の担当者が多く参加した影響と思われる。続いて多い「なし」18%、「主婦」14%については、時間・曜日を選ばずに参加できることが影響したと思われる。

今後はあまり割合の多くない会社員や自営業等、社会人の参加を増やしていくため、仕事帰りや休日に参加しやすい曜日や時間、会場の設定を心がけていきたい。

## 3. 受講した目的について

「総合自殺予防学インテンシブコース」への、職務上の研修による参加者がいるため、「仕事・実生活に活かすため」が一定の割合を占めている。

「講義内容に魅力があるため」が過半数以上を占めるのは昨年、一昨年から続く傾向であり、自分自身の学びを動機とする参加者の多さが改めて確認された。

さらなる受講者増を目指すため、各講座の広報が、そのテーマに興味を持つ人に確実に届くような、効率の良い宣伝方法を考えていきたい。

## 4. 公開講座を何で知ったか

「ポスター・チラシ」が33%で最多であり、ポスター・チラシを各方面に送付する現在の広報が、一定の効果を上げていることを示している。次いで多い「友人・知人」は、リピーターどうしが誘い合って参加していることを伺わせる。

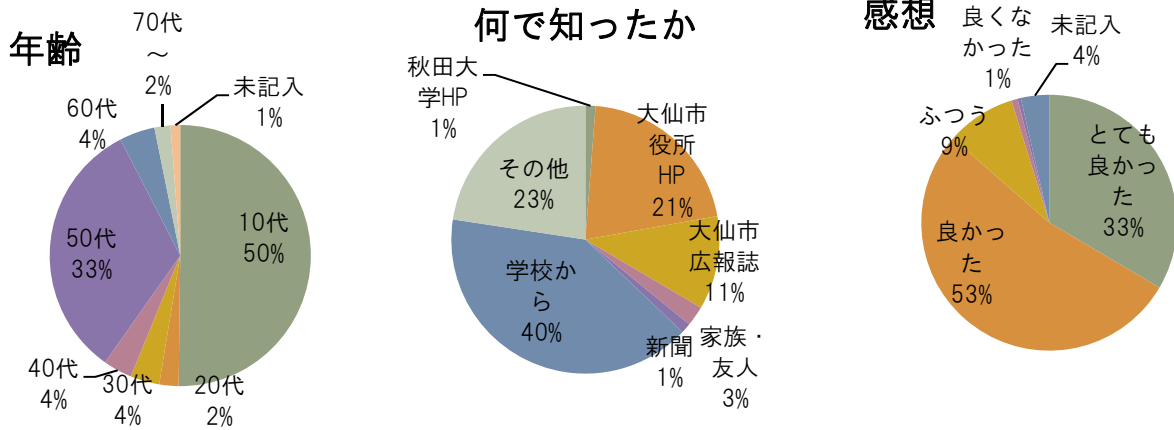
一回きりの参加で終わらず、リピーターが増加してくれるよう、適切な運営に努めたい。

## 5. 講座の内容・方法について

「とても良かった」42%、「良かった」49%となっており、ほとんどの参加者が講座について満足していることが伺える。不満を覚えた参加者については、「想像していた内容とは違っていた」「初心者向けで簡単すぎた」等、内容の善し悪しというより、テーマやレベルのマッチングに問題があった例がほとんどである。これらを踏まえ、広報の際には、講座内容やレベルについて誤解なく伝わるよう心がけたい。

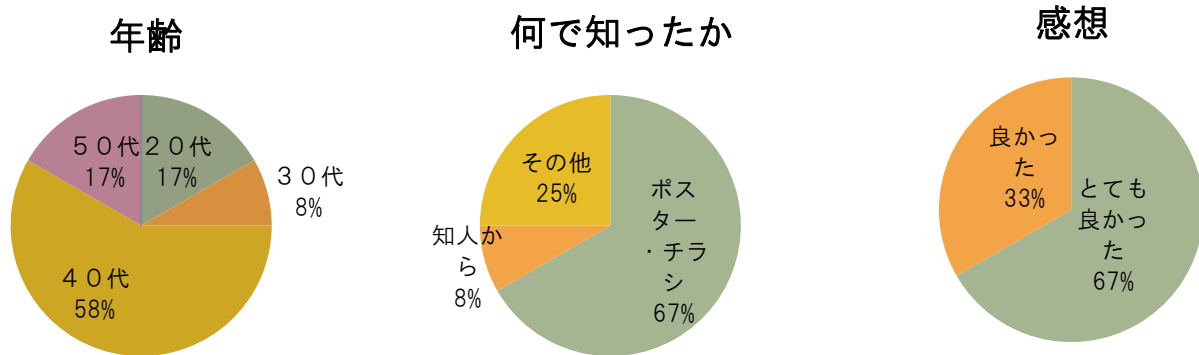
# 平成22年度講演会等アンケート集計結果

## ○大仙市連携協定締結記念講演会



地元高校生の参加があったため、10代及び、学校からの案内で開催を知った参加者が多い。内容については大部分について好評であった。

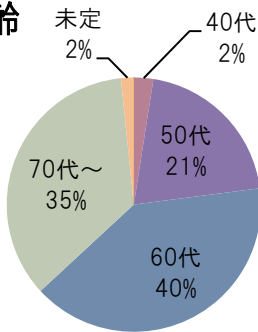
## ○小学校教員のための英語教育レッスン



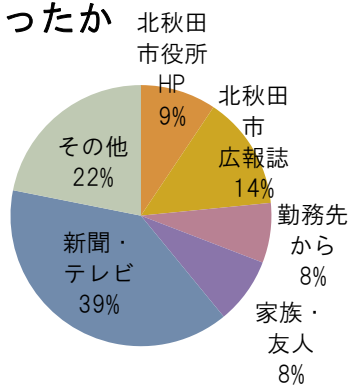
小学校教員が対象の講座であり、参加者は20代～50代。大変好評であった。ポスター・チラシをきっかけに開催を知った参加者が多く、広報活動が一定の効果を上げたことが伺われる。

## ○北秋田分校開設記念講演会

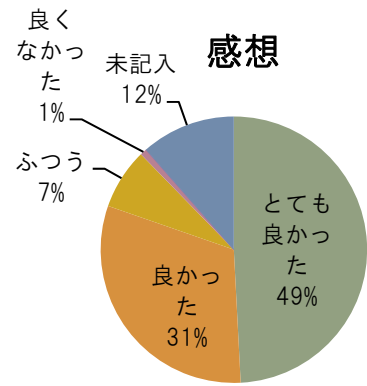
年齢



何で知ったか



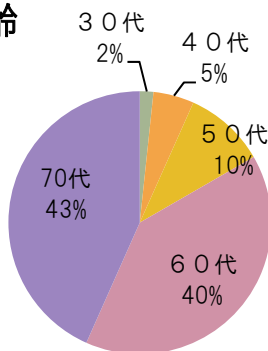
感想



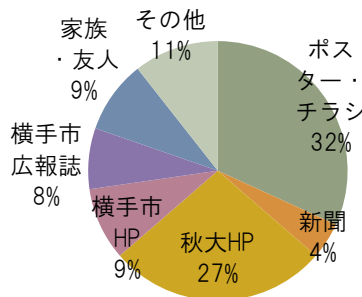
50～70代の参加者が大部分を占める。新聞やテレビから開催を知った参加者が最多であるが、広報誌やHP、勤務先や家族・友人から等、様々な方法で情報を得ていることがわかる。

## ○メディカルサイエンス・カフェin横手

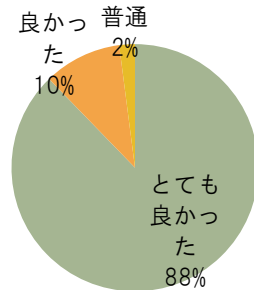
年齢



何で知ったか



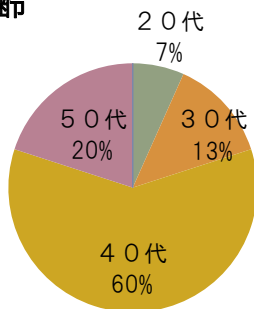
感想



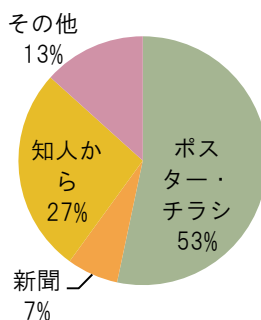
健康がテーマのイベントであることから、60～70代の高齢者が多い。また、「とても良かった」の占める割合が極めて高く、満足度の高さが伺える。

## ○小学校教員のための英語音声研修

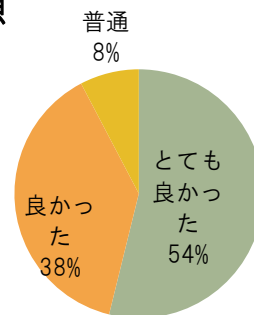
年齢



何で知ったか

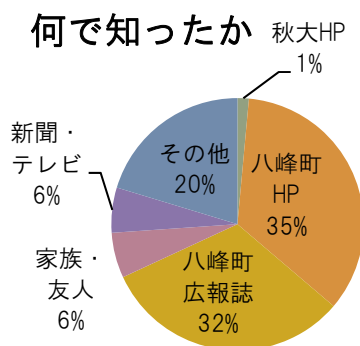
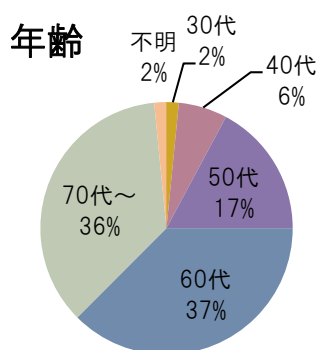


感想

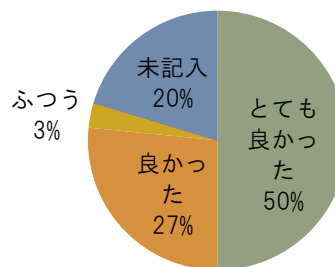


「英語教育レッスン」と同じく、小学校教員を対象とする。参加者が20～50代であること、ポスター・チラシによって知ったこと等、多くの共通点がある。

## ○八峰町連携協定締結記念講演会

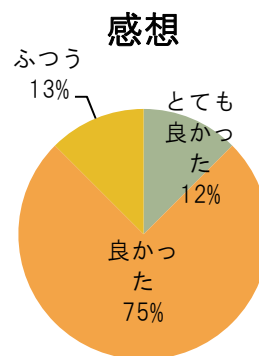
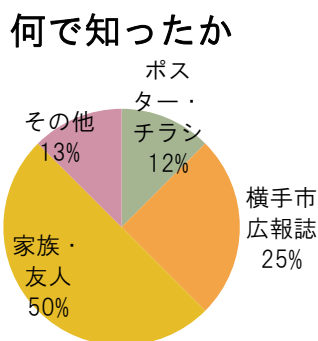
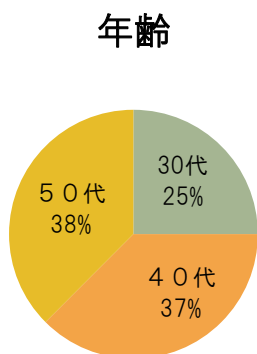


## 感想



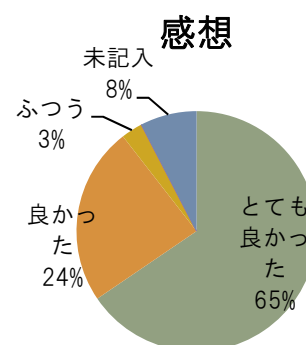
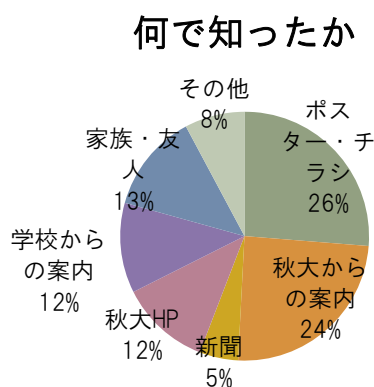
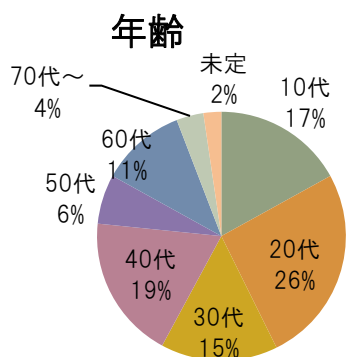
50～70代が中心。八峰町のHP・広報誌で情報を得た参加者が過半数を占め、概ね好評のうちに終了した。

## ○天文ボランティア養成講座



興味の方向性が絞られたイベントであったため、家族・友人から情報を得て参加した人が多い。内容も概ね好評を得ることができた。

## ○「はやぶさ」小惑星の秘密に挑んだ7年の旅（本会場）

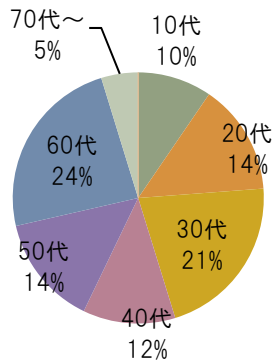


話題となっていたテーマの講演会であり、様々な年代の参加があった。また、幅広く広報を行ったことから、参加者が情報を得た手段も様々である。

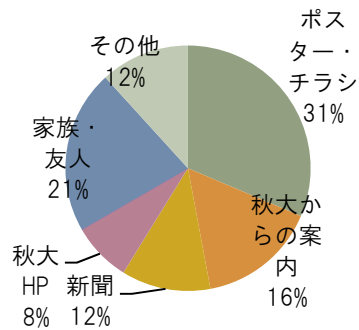
「とても良かった」の割合が高く、満足度の高さが伺えることも特徴的である。

### ○「はやぶさ」小惑星の秘密に挑んだ7年の旅（配信・秋田大学）

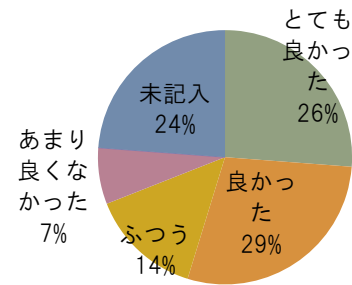
#### 年齢



#### 何で知ったか



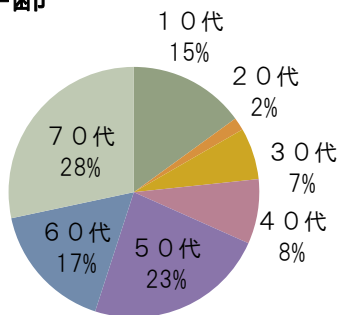
#### 感想



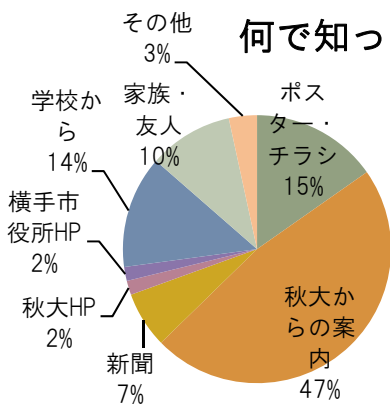
参加者の年齢や、情報を得た手段が多様であることは本会場と共通する。本会場と比べて評価が割れたのは、配信の際、音声がかうまく拾えず、一部聞きにくい点があったことが影響していると見られる。

### ○「はやぶさ」小惑星の秘密に挑んだ7年の旅（配信・横手分校）

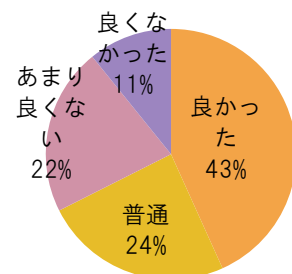
#### 年齢



#### 何で知ったか



#### 感想



参加者の年代、情報を得た手段が多様であることは、秋田大学配信会場と同じである。今ひとつ高評価を得られなかった理由も、秋田大学配信会場と同じく、音質の悪い部分があったことが影響していると考えられる。



平成22年度 秋田大学教育推進総合センター社会貢献推進部門活動報告

秋田大学地域創生センター 編集・発行

(旧 秋田大学教育推進総合センター社会貢献推進部門)

平成23年5月

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

TEL 018-889-2270

FAX 018-889-3162

E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp